

福山市次世代育成支援対策推進行動計画

年次報告書

〈2007年度(平成19年度)〉

2008年(平成20年)6月

福山市

目 次

総 括	1 頁
目標数値等の変更について	5 頁
個別事業の実施状況等報告書（継続事業）	7 頁
個別事業（新規事業）報告書	49 頁

基本理念

みんなで創る 子育てNo.1 ONLY.1のまち ふくやま

基本目標

みんなで創る 新しい生命に出会い、育てる幸せを実感できるまち
 みんなで創る 子どもが希望をもって 生き生きと育つ喜びのあるまち
 みんなで創る 心と心で支え合う やさしさあふれる子育てのまち

基本方針 1 安心できる母子保健の推進		指 標	現状値(計画初期値)	2006年度実績	2007年度実績	目 標 値	ま と め	
基本施策	・具体的な施策の実施状況							
1 妊娠・出産期の支援	・全小学校区1名以上の「子育て支援ボランティア」の配置(養成) ・「訪問指導(すこやか育児サポート事業,産後うつ病質問票を使用した訪問)」の推進	子育て支援ボランティアの配置 ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握及び支援等	52小学校区(2004年度) データなし	65/78小学校区 -	68/78小学校区 48.3%	全小学校区(2012年度) 100%(2012年度)	妊娠中から乳児期の育児不安の解消を図る「すこやか育児サポート事業」を行った。また、子育ての話し相手になったり、情報提供をする声かけ訪問を行う「子育て支援ボランティア」の養成を継続して推進した。早期に全小学校区に1名以上のボランティアを養成する。 また、乳幼児健康診査の受診率向上の取組みや、保健師等による訪問指導や乳幼児健康相談等で、食育の啓発などを実施し、子どもの心身の健全な発育・発達を支援した。 2007年度は、「福山市食育推進計画」を策定し、また、「次世代育成支援推進行動計画」と整合性を図っている「健康ふくやま21」の中間評価を行い、後期計画を策定した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2008年度新規事業 *こんにちは赤ちゃん訪問事業</div>	
2 乳幼児期から思春期までの保健対策	・食生活改善推進事業 子ども料理教室・講演会等食育をテーマにした講座開催 ・健康診査(乳児一般,4か月児,1歳6か月児,3歳児)の実施 ・予防接種の勧奨と情報提供 ・学校の無煙化の推進(全校敷地内全面禁煙実施)	朝食を欠食する習慣のある児童 ・受診率(1歳6か月児) ・受診率(3歳児) ・BCGの予防接種終了児童(6か月児) ・麻しんの予防接種終了児童(1歳6か月児) 校内全面禁煙校	1歳6か月児 9.6%(2001年度) 3歳児 10.4%(2001年度) データなし 70.0%(2001年度) 小中学校61校(2004年度)	- 90.6% 85.4% 97.1% 84.5% 小中高等学校105校/115校	1.6歳児5.7%,3歳児9.9% 小学3年生 4.7% 中学2年生20.1% 90.8% 85.7% 97.4% 89.4% 小中高校115校/115校	0%(2012年度) 95%以上(2012年度) 90%以上(2012年度) 90%以上(2012年度) 90%以上(2012年度) 全校実施(2007年度から)		
3 楽しい育児の実現	・乳幼児健康相談の実施	夜10時までに寝る児童	1歳6か月児50.8%(2001年度) 3歳児 49.83%(2001年度)	-	68.0% 61.1%	1歳6か月児80%以上(2012年度) 3歳児 80%以上(2012年度)		
4 小児医療の充実	・在宅当番医,小児二次救急輪番体制の充実,福山市医師会による夜間小児診療所の診療の充実		2006年度実施状況 休日昼間一次診療 9医療機関(小児科含当番医) 毎夜間二次診療 小児診療4医療機関 毎夜間小児診療 (福山市医師会館)		2007年度実施状況 休日昼間一次診療 9医療機関(小児科含当番医) 毎夜間二次診療 小児診療4医療機関 毎夜間小児診療 (福山市医師会館)			
基本方針 2 子育て家庭に対する支援の充実								
基本施策	・具体的な施策の実施状況							
1 保育所その他の施設での保育サービスの充実	・保育を必要とする児童の全員入所を基本に、保育内容の充実,保護者の就労形態や生活実態の変化に対応した保育サービスを提供	・保育所入所児童数 ・延長保育実施箇所数 1時間延長 2時間延長 3時間以上延長 ・休日保育実施箇所数 ・病児・病後児保育実施箇所数 ・一時保育実施箇所数 ・夜間保育実施箇所数 ・「短期入所生活援助事業(ショートステイ・トワイライト)」 保護者の疾病や仕事等で、家庭で保育ができない場合に児童養護施設や乳児院で短期預かりを実施	11,873人(2004年度) 114箇所(2004年度) 4箇所(2004年度) 1箇所(2004年度) 6箇所(2004年度) 2箇所(2004年度) 72箇所(2005年度) 2箇所(2004年度) 2箇所(2004年度) 2箇所(2004年度)	12,065人 113箇所 5箇所 1箇所 6箇所 3箇所 73箇所 2箇所 2箇所 2箇所	12,018人 112箇所 5箇所 3箇所 6箇所 3箇所 70箇所 2箇所 2箇所 2箇所	12,000人(2009年度) 105箇所(2009年度) 13箇所(2009年度) 4箇所(2009年度) 5箇所(2009年度) 5箇所(2009年度) 75箇所(2009年度) 2箇所(2009年度) 2箇所(2009年度) 2箇所(2009年度)		保育を必要とする児童の全員入所を基本に保育を実施し、待機児童は発生していない。 また、延長保育,休日保育,一時保育,病児・病後児保育,夜間保育を実施し、利用者も増加しており、保護者の多様な保育ニーズに継続して対応するとともに、老朽化が進行する保育所の大型遊具の更新,空調設備の整備及び施設修繕を進め、保育環境の改善に取り組んだ。

2008年度において目標値及び指標を変更したものを

2007年度(平成19年度)実施状況 総括表

基本方針 2 子育て家庭に対する支援の充実		指 標	現状値(計画初期値)	2006年度実績	2007年度実績	目 標 値	ま と め	
基本施策 ・具体的な施策の実施状況 ・ファミリー・サポート・センター事業 子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって 子育てを地域で支える事業を推進	協会員数	114人(2004年度)	161人	164人	190人(2009年度)		地域子育て支援センター事業の拡充やファミリー・サポート・センター事業等の継続によって、地域の多様な子育て支援ニーズに対応し、放課後児童クラブ事業の拡充によって、子育てと仕事の両立支援を推進した。また、子育て支援情報のガイドブック2007年度版を発行し、子育て家庭への情報提供を推進した。 2007年度から児童手当の3歳未満の手当額の引き上げや、乳幼児等医療費助成などの継続により、子育て家庭に対する経済的な支援を充実した。 また、同時に保育所等へ入所している児童の家庭の2人目以降の保育料を対象に、保護者負担の軽減を図った。 2008年度新規事業 * 地域における家庭教育支援基盤形成事業 * 女性のチャレンジ支援事業	
2 地域の多様なニーズに応えた子育て支援サービスの充実 ・地域子育て支援センター事業の充実 保育所等を拠点として子育て家庭への子育て支援事業を展開 ・幼稚園事業での子育て支援事業の展開			公立7箇所 私立8箇所	公立7箇所 私立10箇所				
3 子育て家庭に対する情報提供の充実 ・2007年7月「あんしん子育て応援ガイド2007」を継続して発行 ・子育て支援ホームページの充実			2006年度版発行	2007年度版発行				
4 子育てと仕事の両立支援の推進 ・放課後児童クラブ事業 保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に小学校等の施設を利用して、適切な遊びや生活の場を提供 ・学習・啓発事業 子育て応援セミナー・家族のコミュニケーションセミナーなどの開催	実施箇所数	75箇所(2004年度)	74箇所	75箇所	75箇所(2009年度)			
5 子育て家庭に対する経済的な支援 ・2007年4月から「児童手当」の3歳未満の手当額を拡充、及び「乳幼児等医療費助成」等の経済的支援事業の継続 ・2005年度から実施している「幼児インフルエンザ予防接種費補助事業」を継続 ・保育所保育料の多子軽減								
基本方針 3 次代を担う世代の育成								
基本施策 ・具体的な施策の実施状況 1 生きる力を育成する学校の教育環境の整備 ・適応指導教室「かがやき」の運営、スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進等(不登校児童生徒対策) ・確かな学力の向上 子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得、個性を伸ばし選択能力を向上させる取組みの推進 ・少人数指導推進支援事業の推進 基礎学力の定着を図るための少人数指導等の工夫改善 ・学校評価推進事業 外部評価の導入による客観的かつ総合的な評価の確立 ・読書教育の推進 読書環境充実に向けて各校の蔵書を質的・量的に整備 ・キャリア教育推進事業の推進 児童生徒に確かな勤労観・職業観を身につけさせるため、中学校2年生を対象に「チャレンジ・ウィークふくやま(職場体験学習)」を実施	不登校児童生徒出現率		1.53%	1.55%	1.17% (2010年度)	学校教育においては、少人数指導推進支援事業を推進するとともに、継続して、英語教育、読書教育などのための環境の整備を図り、「確かな学力の向上」に努めた。また、適応指導教室の運営やスクールカウンセリングプロジェクト事業、全児童生徒の定期的な個人面接等を実施し、不登校対策を充実した。 夏期休業中には、児童生徒に確かな勤労観・職業観を身につけさせるため、5日間の職場体験学習(チャレンジウィークふくやま)を実施し、中高校生のインターンシップの受け入れも継続して実施した。 また、放課後子ども教室の内容の充実や、子育て支援ボランティアの養成等を通して、地域住民の子育て力の向上の支援と連携を図った。 2008年度新規事業 * 北京市教育交流推進事業 * 沼隈体育館改修工事		
	基礎基本定着状況調査の正答率		小学校 国語75.4%、算数78.4%、 中学校 国語80.9%、数学68.8%、英語72.5%	小学校 国語62.7%、算数74.4%、 中学校 国語71.6%、数学65.9%、英語70.7%	全実施教科で正答率80%以上 (2010年度)			
	全学校における学校図書館図書標準の達成		達成校 小学校 56校/78校 中学校 19校/36校	全校100%	全校100% (2007年度)			
2 家庭における教育力の向上 ・公民館において親子のふれあいや保護者同士の交流を図る「子育て支援交流事業」を推進	事業開催箇所数	全地区公民館(73館)で実施	全地区公民館(79館)で実施	全地区公民館(79館)で実施	全地区公民館(79館)で実施			
3 地域における教育力の向上 ・子どもと地域住民との交流、子どもが安全・安心していられる場所として「放課後子ども教室(子どもの居場所づくり事業)」を推進 ・職場体験学習・インターンシップの受け入れ 中高校生の勤労体験学習の実施	実施箇所数	22箇所(2004年度)	36箇所	33箇所	全学区で実施			
4 次代の親の育成 ・保育所等において、中学生など異世代との交流を実施								

【新規】2007年度新規事業のもの

2008年度において目標値及び指標を変更したもの

2007年度(平成19年度)実施状況 総括表

基本方針 3 次代を担う世代の育成		指 標	現状値(計画初期値)	2006年度実績	2007年度実績	目 標 値	ま と め
基本施策 ・具体的な施策の実施状況 5 児童生徒の健全育成の推進 ・性の逸脱行為,問題行動に対する指導や関係機関との連携を推進 6 地域全体との協働による子育て支援の推進 ・子育て支援ボランティアの養成,ファミリー・サポート・センター事業等を通して,地域の子育て力の向上を支援							
基本方針 4 援助を必要とする子育て家庭への支援		指 標	現状値(計画初期値)	2006年度実績	2007年度実績	目 標 値	ま と め
基本施策 ・具体的な施策の実施状況 1 児童虐待防止対策の充実 ・2005年4月に設置した「福山市児童虐待防止ネットワーク」の関係機関の連携を強化するとともに,児童虐待防止啓発講演会・研修会の開催,啓発用懸垂幕・リーフレットの作成,オレンジリボンキャンペーンなど啓発事業を展開 ・育児支援家庭訪問事業の充実 2 ひとり親家庭等の自立支援の推進 ・自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費の支給 ・ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業を推進し,ひとり親家庭の親の自立を支援 3 障害児施策の充実 ・特別支援教育に向けた体制の整備等障害児教育の充実 ・障害者等総合相談事業の「子ども発達相談室」の設置【新規】 ・障害児通園施設利用者負担軽減事業など障害福祉サービス等の充実【新規】		虐待していると思ったこと	就学前12.7%(2003年度) 小学生 9.3%(2003年度)	-	-	減少(2009年度)	「福山市児童虐待防止ネットワーク」の円滑な運営に努め,児童虐待の未然防止,早期発見,早期対応に取り組むとともに,市民啓発事業を推進した。 また,助産師等の家庭訪問により,育児不安を抱える家庭の支援を行う育児支援家庭訪問事業を積極的に実施した。 生活基盤が脆弱であること多いひとり親家庭については,教育訓練給付金事業等のほか,ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業を継続し,ひとり親家庭の親の就業・自立を支援した。 学校教育においては,特別支援教育に向けて相談体制,支援体制の整備を図った。 障害者通園施設利用者負担軽減事業を開始し,食費補助・併行通園補助を行い,また,障害者等相談事業として「子ども発達相談室」を設置した。
基本施策 ・具体的な施策の実施状況 1 安全で,安心して子育てができるまちづくりの推進 ・「ユニバーサルデザイン」を基本とした事業の推進 2 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進 ・「子ども110番事業ネットワーク会議」を発足し「子ども110番の家」事業の推進,スクールサポートボランティア等子どもを犯罪被害から守る活動を推進 ・「福山市生活安全連絡会議」による「子どもの安全対策」の推進 ・青色回転灯を装備した生活安全パトロール車による子どもの見守り活動及び地域青色防犯パトロール実施団体支援事業の展開【新規】 ・児童安全啓発事業 保育所・幼稚園・小学校の児童を対象とした,子ども安心安全啓発ガイドブックの作成・配布,活用 ・地域安全マップ普及推進事業【新規】 「地域安全マップセミナー」を開催し指導者を養成・派遣し地域防犯を推進 ・通学時安全確保事業の実施 通学路沿い公共施設への防犯カメラシステムの設置及び,小学校新入生への防犯ブザー,ランドセルシールの配布の継続した実施 ・緊急通報システムの整備 市内の保育所,幼稚園,放課後児童クラブへ緊急通報システムを整備 ・不審者情報等配信事業の実施 児童の安全確保のため,児童の保護者等に不審者情報等をメールで配信 3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 ・「少年社会環境浄化モニター」による実態調査及び啓発活動を実施 4 子どもの交通安全を確保するための活動の推進 ・保育所,幼稚園,小学校児童を対象とした「交通安全教室」の開催							「ユニバーサルデザイン」の啓発・推進,及び,地域,警察と連携して防犯体制の整備や青少年補導員協議会やPTA等との連携による青少年の非行防止活動を継続して実施した。 また,「子どもの安全対策」として,保育所・幼稚園・放課後児童クラブへの緊急通報システムの整備,不審者情報等配信,通学路の安全対策事業等に引き続き取り組んだ。地域においても,地域安全マップ普及推進事業を進めるとともに,住民による子どもの通学時の見守り活動が,「協働」の取組みとして継続されている。

【新規】2007年度新規事業のもの

2007年度(平成19年度)実施状況 総括表

総 括

行動計画の3年度目にあたる2007年度(平成19年度)は、概ね着実に事業が進められた。今後の事業展開にあたっては、国・県・他都市の動向や地域のニーズ、財政状況等総合的に勘案して本行動計画を着実に推進する。

- 本行動計画と整合性を図っている「健康ふくやま21」の中間評価の結果や、各事業の実施状況に応じて、目標数値の見直し等を行い、新たな目標に向けて計画を推進していく。

2007年度(平成19年度)は、「子どもの安全対策」を更に進め、子どもを犯罪等の被害から守る事業を積極的に展開するとともに、市民の高い関心のもと、地域と協働した取り組みを継続した。

新しい事業や制度の計画・実施については、効果的かつ効率的に市民へ情報提供を行う中で実施する。

〔計画当初〕

基本方針	5	基本施策	22
個別事業数	86(重複を除く)		
うち数値目標設定事業			17

〔2007年度〕

個別事業数	120(重複を除く)		
うち			
新規追加事業			7
数値目標設定事業			27

〔2008年度〕

個別事業数	123(重複を除く)		
うち			
新規追加事業			5
数値目標設定事業			27

福山市行動計画における2009年度(平成21年度)目標数値等の変更について

2006年度変更分

コード	個別事業名	指標	現状値 (計画初期値)	2005年度実績	目標値 (変更前)	目標値 (変更後)	変更理由
1-2-9	学校の無煙化	校内全面禁煙校	小中学校61校 (2004年度)	小中学校89校/105校	全校実施 (2005年度)	全校実施 (2007年度から)	神辺町との合併による変更
2-1-1	保育サービスの充実 保育所入所児童数	保育所入所児童数	10,755人(2004年度) 1,118人(2004年度)	10,907人 1,172人	10,800人(2009年度) 1,208人(2009年度)	12,000人 (2009年度)	
		延長保育	延長保育実施箇所数				
	1時間延長		103箇所(2004年度) 11箇所(2004年度)	103箇所 11箇所	94箇所(2009年度) 11箇所(2009年度)	105箇所 (2009年度)	
2時間延長	3箇所(2004年度) 1箇所(2004年度)	3箇所 1箇所	12箇所(2009年度) 1箇所(2009年度)	13箇所 (2009年度)			
一時保育	1日あたりの最大受入児童数	81人(2004年度) 55人(2004年度)	153人 16人	135人(2009年度) 28人(2009年度)			
		実施箇所数		64箇所 8箇所		75箇所 (2009年度)	目標数値の達成、神辺町との合併及び国の目標指数(実施箇所数)に合わせての変更
2-1-4	放課後児童クラブ事業	実施箇所数	67箇所(2004年度) 8箇所(2004年度)	67箇所 8箇所	68箇所(2009年度) 8箇所(2009年度)	74箇所 (2009年度)	神辺町との合併による変更
2-2-7	子育て支援交流事業	事業開催数	地区公民館で 69回開催		地区公民館で 73回開催		目標数値の達成及び神辺町との合併による変更
		事業開催箇所数		全地区公民館(73館)で開催		全地区公民館 (79館)で開催	
3-3-4	地域子ども教室(子どもの居場所づくり事業)	実施箇所数	16箇所(2004年度) 6箇所(2004年度)	25箇所 6箇所	72箇所(2006年度) 6箇所(2006年度)	36箇所 (2006年度)	事業の進捗状況に合わせた変更

下段 は、神辺町分

2007年度変更分

コード	個別事業名	指標	現状値 (計画初期値)	2006年度実績	目標値 (変更前)	目標値 (変更後)	変更理由
1-2-2	食生活改善推進事業	講話会等の開催回数	各小学校1.5回 (2006年度)	各小学校1.5回		各小学校2回 (2007年度)	新たに目標数値を設定
2-1-7	ファミリーサポートセンター事業	ファミリーサポートセンター協力会員数	114人 (2004年度)	161人	160人	190人 (2009年度)	目標値の達成による変更
3-1-1	確かな学力の向上	基礎基本定着状況調査の正答率を全実施教科で80%以上	小学校:国75.4%,算78.4% 中学校:国80.9%,数68.8% 英72.5%(2006年度)	小学校:国75.4%,算78.4% 中学校:国80.9%,数68.8%,英72.5%		80% (2010年度)	新たに目標数値を設定
3-1-3	読書教育の推進	全学校における学校図書館図書標準の達成	小学校達成 56校/78校 中学校達成 19校/36校 (2006年度)	小学校達成 56校/78校 中学校達成 19校/36校		全校100% (2007年度)	新たに目標数値を設定
3-1-5	不登校児童生徒への取組	暴力行為,いじめ,不登校児童数			半減		目標指標を「不登校児童生徒出現率」に変更
		不登校児童生徒出現率	1.58% (2006年度)	1.58%		1.17% (2010年度)	
3-3-4 (3-5-7)	子どもの居場所づくり事業(地域子ども教室)の推進	地域子ども教室実施箇所数	22箇所 (2004年度)	36箇所	36箇所 (2006年度)	全区で実施 (2009年度)	事業内容の充実及び進捗状況に合わせた変更 「地域子ども教室」「放課後子ども教室」に2007年度から変更

福山市行動計画における2009年度(平成21年度)目標数値等の変更について

2008年度変更分

コード	個別事業名	指標	現状値 (計画初期値)	2007年度実績	目標値 (変更前)	目標値 (変更後)	変更理由
1-2-2	食生活改善推進事業	朝食を欠食する習慣のある児童・生徒	1.6歳児 9.6% 3歳児 10.4%	1.6歳児 5.7%, 小学3年生 4.7% 3歳児 9.9%, 中学2年生20.1%	1.6歳児及び3歳児 0%	1.6歳児及び3歳児 0% 小学3年生及び中学2年生 0%	小学3年生及び中学2年生も対象にした
3-1-3	読書教育の推進	全学校における学校図書館図書標準の達成	小学校: 国75.4%, 算78.4% 中学校: 国80.9%, 数68.8% 英72.5%(2006年度)	全校100%超	全校100% (2007年度)		目標達成により目標数値の設定解除
1-1-5	こんにちは赤ちゃん訪問事業	乳児全数訪問率				100% (2010年度)	2008年度新規事業

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-1-1 (1-3-1・2-2-6・2-3-4・3-6-2・4-1-2)	1-1-2	1-1-3
担当部課		保健所総務課	保健所健康推進課	保健所健康推進課
具体的な施策 (個別事業名)		子育て支援ボランティア事業	母子健康手帳の交付	妊婦一般健康診査
事業概要		子育て支援ボランティアを養成し、市保健師と連携して家庭訪問等により、保護者の話し相手になったり、子育ての情報提供を行う	安全な妊娠・出産のための情報提供や妊娠・出産・子育てに関する一貫した記録など母子が自らの健康管理に活用するための手帳を交付し、母子保健事業を啓発するもの	医療機関において、問診、診療、血液検査等を行い、妊婦の健康確保を図るもの
数値目標等		子育て支援ボランティアの配置	—	—
現状値		52小学校区(2004年度)	—	—
目標値		全ての小学校区(2012年度)	—	—
07年度実施状況等	実績値	68小学校区/78小学校区	—	—
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○全小学校区に1名以上の子育て支援ボランティアを登録(養成)することを目標に、2003年度から子育て支援ボランティアの養成を実施 ○78小学校区中68小学校区への登録を行い、声かけ訪問を実施 ○同行訪問・声かけ訪問件数延227件 ○今後は、未登録学区を中心に募集を行う。 	市民課、各支所・分室等で妊娠届けをした人に交付している。 交付数4,691冊 (外国語日本語併記母子健康手帳も含む。その種類は、ポルトガル語・タガログ語・中国語・英語・ハンガール・タイ語・インドネシア語・スペイン語の8か国である)	妊婦が、かかりつけ医において、妊娠中に妊婦一般健康診査受診票を用いて、2回受診している。 受診件数8,715件	
2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援ボランティアの養成講座の開催 ○子育て支援ボランティアフォローアップ講座の開催 ○「こんにちは赤ちゃん訪問事業」による育児支援の推進 ○乳幼児健康相談や離乳食講習会などにおける子育て支援活動の推進 	【継続 ■ 廃止 □】 ○母子健康手帳の交付予定数5,600冊 (妊娠届出数により変化するものであり目標数ではない) ○引き続き外国語日本語併記母子健康手帳を交付する。	【継続 ■ 廃止 □】 妊婦一般健康診査受診票4,600件×(5枚+1枚) 妊婦一般健康診査受診票を5枚、子宮頸ガン検診受診票を1枚発行する。 (妊婦数により変化するものであり目標数ではない)
(予算額:千円)		139	1-2-4に含む	1-2-6に含む
備考 (特記事項)		「こんにちは赤ちゃん訪問事業」は、健康推進課及び各保健事業実施課と連携して実施		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-1-4 (1-2-5・1-3-2)	1-2-1	1-2-2																	
担当部課	保健所健康推進課	保健所健康推進課	保健所健康推進課	保健所健康推進課 児童部保育課																	
具体的な施策 (個別事業名)	訪問指導 (すこやか育児サポート事業、産後 うつ病質問票を使用した訪問)	訪問指導 (すこやか育児サポート事業、産後 うつ病質問票を使用した訪問)	乳幼児の事故防止	食生活改善推進事業																	
事業概要	産婦人科医、小児科医、市保健師が協力し、妊娠中から乳児期の子育て不安に対して、小児科医の保健指導や保健師の家庭訪問を行うもの	産婦人科医、小児科医、市保健師が協力し、妊娠中から乳児期の子育て不安に対して、小児科医の保健指導や保健師の家庭訪問を行うもの	不慮の事故による乳幼児の死亡を防ぐための取り組みをするもの	偏食防止、朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進するもの																	
数値目標等	現状値	現状値	現状値	現状値																	
	目標値	目標値	目標値	目標値																	
現状値	妊娠・出産に満足している人	データなし	79.6%	100% (2012年度)																	
目標値	妊娠・出産に満足している人	データなし	79.6%	100% (2012年度)																	
現状値	妊婦の喫煙率	データなし	12.9%	0% (2012年度)																	
目標値	妊婦の喫煙率	データなし	12.9%	0% (2012年度)																	
現状値	ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握	データなし	48.3%	100% (2012年度)																	
目標値	ハイリスク児の母親の出産後の精神状態の把握	データなし	48.3%	100% (2012年度)																	
実績値	—	—	—	—																	
区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】																	
実施内容及び課題等	<p>○ハイリスク妊婦及びハイリスク児等の訪問を実施して育児不安の軽減に努めるとともに、育児支援家庭訪問事業と連携してハイリスク家庭を支援している。</p> <p>○すこやか育児サポート事業:83件</p> <p>○産後うつ病質問票を使用した訪問件数:2,146件</p> <p>【課題】 ハイリスク児等の家庭訪問は、主に出生時に保護者が提出する「赤ちゃん誕生届出カード」の情報を基に実施しているが、提出率が86.0%であり、未提出の児は乳児期早期の支援がしにくい現状である。</p>	<p>乳幼児健康相談及び乳幼児健康診査時などで、事故防止についての啓発を実施している。</p> <p>【参考】 4歳までの不慮の事故死亡数及び率</p> <p>2004年 3件(14.7%) 2005年 2件(9.8%) 2006年 1件(4.6%)</p>	<p>○公民館等で子どもを対象に「食育」を中心とした料理教室を開催した。 (食生活改善推進員による料理教室実施など)</p> <p>○市民向けに食育フォーラムの開催</p> <p>○福山市食育推進計画策定</p>	<p>朝食を欠食する習慣のある児童・生徒</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2007年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.6歳児</td> <td>9.6%</td> <td>5.7%</td> <td rowspan="4">0% (2012年度)</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>10.4%</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>小学3年生</td> <td>—</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>中学2年生</td> <td>—</td> <td>20.1%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値	2007年度	目標値	1.6歳児	9.6%	5.7%	0% (2012年度)	3歳児	10.4%	9.9%	小学3年生	—	4.7%	中学2年生	—	20.1%
	現状値	2007年度	目標値																		
1.6歳児	9.6%	5.7%	0% (2012年度)																		
3歳児	10.4%	9.9%																			
小学3年生	—	4.7%																			
中学2年生	—	20.1%																			
2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】																	
(予算額:千円)	1-2-4に含む	1-2-4に含む	1-2-4に含む	※158																	
備考 (特記事項)		人口動態統計は、年度での集計は出来ない	※予算額は健康推進課分のみ	●目標値変更あり 小学3年生及び中学2年生を追加した																	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-2-2	1-2-3 (1-3-3)	1-2-4
担当部課		(教) 学校教育部学校保健課	保健所健康推進課	保健所健康推進課
具体的な施策 (個別事業名)		食生活改善推進事業	離乳食講習会	乳幼児健康相談
事業概要		偏食防止、朝食摂取等子どもに望ましい食生活を身につける啓発を推進する	離乳食の必要性、すすめ方、作り方などを指導し、試食の機会を提供するもの	乳幼児の問診、身体測定、発育・発達の確認、育児相談、歯科相談、栄養相談を行うことで乳幼児の心身の健全な発育・発達を支援するもの
数値目標等		講話会等の開催回数	—	夜10時までに寝る児童
現状値		各小学校1.5回(2006年度)	—	1歳6か月児：50.8% (2001年度) 3歳児：49.3% (2001年度)
目標値		小学校2回(2007年度)	—	1歳6か月児：80.0%以上 (2012年度) 3歳児：80.0%以上 (2012年度)
07年度実施状況等	実績値	各小学校1.5回		1歳6か月児：68.0% 3歳児：61.1%
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○各小学校において、栄養士による講話会等を実施した</p> <p>○公立幼稚園19回、中学校10回、栄養士による「食育」に関する講話を実施した</p> <p>【課題】 「食育」を推進するため、指導内容の焦点化が必要である</p>	<p>○2007年度厚生労働省より「授乳・離乳の基本」が策定されたことをうけて、指導内容の見直しをした。</p> <p>○健やかな母子・親子関係の形成を促し育児に自信をもたせることを基本とし、健全な生活リズムを身につけ食べる楽しさを体験していくことができるよう、一人ひとりの子どもの「食べる力」を育むための支援を観点におき、その上で、離乳食の必要性・すすめ方・作り方を指導し、試食の機会を提供した。</p> <p>実施回数 44回 参加者数 延べ 903人</p>	<p>○保健師、歯科衛生士、栄養士による健康相談を実施している。また、図書館司書による「絵本と出会うふれあい事業」を同時に実施している。</p> <p>○保護者同士の友達づくりの場となっている。</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		○各小学校において、栄養士による「朝食の必要性」を内容とする給食試食会等を100%実施する ○幼稚園、中学校においても、栄養士による「朝食の必要性」を内容とする講話会等を実施する	2007年度と同様に実施	2007年度と同様に実施
(予算額:千円)		0	1-2-4に含む	9,302
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-2-6	1-2-7	1-2-8 (3-4-2)
担当部課		保健所健康推進課	保健所健康推進課	保健所保健予防課 他(※)
具体的な施策 (個別事業名)		乳児一般健康診査, 4か月児健康診査, 1歳6か月児健康診査, 3歳児健康診査	予防接種	思春期の保健対策
事業概要		医療機関等において乳児の疾病, 障害の早期発見, 心身の健全な発育・発達などを促すとともに, 親の育児不安を解消するため, 乳幼児の健康診査を実施するもの	子どもの疾病予防のため, 予防接種の勧奨及び情報提供を行うもの	小中学生への喫煙・飲酒防止教室の実施, 性や性感染症に関する正しい知識の普及・啓発を行うもの
数値目標等	幼児健診の受診率	現状値	現状値	2007年度 目標値 (2012年度)
		目標値	2007年度 目標値 (2012年度)	2007年度 目標値 (2012年度)
実績値	区分	1歳6か月児: 90.8% 3歳児: 85.7%	6か月までにBCG予防接種済みの児童 データなし	未成年者の喫煙率(中学2年) 11.30%
		【継続 ■ 新規 □】	1.6歳までに麻しんの予防接種済みの児童 70% (2001年度)	未成年者の喫煙率(高校2年) 5.0%
07年度実施状況等	実施内容及び課題等	乳幼児の健康診査は, 個別健康診査(乳児一般健康診査・4か月児健康診査)と集団健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)で実施している 【課題】 未受診者の減少を目指し, 未受診者対策を推進する。	○広報, 乳幼児健康相談, 幼児健康診査の場などにおいて予防接種の勧奨を行った。 ○家庭, 保育所, 幼稚園, 小中学校に予防接種の種類, 接種時期等の情報を提供した。 ○保育所, 幼稚園, 学校において子どもに予防接種の勧奨を行った。 ○2007年度秋期からポリオ予防接種が44協力医療機関において個別接種となった。	未成年者の飲酒割合(最近1か月の飲酒経験) (中学2年) 毎日 0% 3日/週以上 10.0% 1日/週程度 12.0% (高校2年) 毎日 0% 3日/週以上 5.9% 1日/週程度 23.7%
		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
2008年度計画		1歳6か月児: 50回 (受診率 91.0%) 3歳児: 50回 (受診率 86.0%)	あらゆる機会において, 予防接種の勧奨及び情報提供をしていく。	○小中学校での喫煙・飲酒防止教育講座(小学校11校・中学校6校, その内小学校2校と中学校2校は薬物防止教育を実施した。) ○小中学校における「生と性」の講演会として, 中学校3校で実施した。 ○依頼による性教育を中学校2校, 高校2校で6回実施した。 ○小中学生の喫煙・飲酒に対する防止として, 地域における補導活動や青少年センターによる常時・合同・特別補導活動を実施した。 街頭補導数 3,016人 うち喫煙補導数 919人
(予算額:千円)		214,322	276,243	64
備考 (特記事項)			2008年度から担当部課が保健所保健予防課へ変更	(※) その他の関係部署 青少年課 保健所総務課 健康推進課 学校保健課 指導課

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-2-9	1-4-1
担当部課	(教) 学校教育部指導課	保健所総務課	
具体的な施策 (個別事業名)	学校の無煙化の推進	小児医療の充実	
事業概要	学校において喫煙防止教育を実施するとともに、敷地内全面禁煙を推進する。	在宅当番医、小児二次救急輪番病院、福山市医師会による福山小児診療所の休日、夜間診療の充実	
数値目標等	学校の無煙化	—	
現状値	小中高校61校(2004年度)	—	
目標値	全校実施(2007年度から)	—	
07年度実施状況等	実績値	小中高校115校/115校	
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	全校で敷地内全面禁煙を実施	<p>○休日における昼間の一次診療を市内9医療機関(小児科以外も含む)の当番医により実施</p> <p>○毎夜間における二次診療を10医療機関(小児は4医療機関)で輪番により実施</p> <p>○福山市医師会が毎夜間、医師会館において小児診療を実施</p>	
2008年度計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>○全校で敷地内全面禁煙継続</p> <p>○地域、関係団体への啓発活動の継続</p> <p>○喫煙防止教育の充実</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>2007年度と同様に実施</p>	
(予算額:千円)	0	87,194	
備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)
担当部課	児童部庶務課	
具体的な施策 (個別事業名)	保育サービスの充実 (保育所入所児童数)	
事業概要	保育を必要とする児童の全員入所、児童一人ひとりの人権を大切に する心を育てる保育の充実、保護者の就労形態や生活実態の変化 に対応できる保育サービスの充実を推進するもの	
数値目標等	入所児童数	
	現状値	11,873人 (2004年度)
	目標値	12,000人 (2009年度)

07 年度 実施 状況 等	実績値	12,018人
	区分	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】
	実施内容及び課題等	○途中入所による弾力的な入所児童の受け入れ ○入所定員の拡大
2008年度計画	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】	11,970人 ○公立 5,665人 ○私立 6,305人
(予算額:千円)	11,763,354	
備考 (特記事項)	児童数は、各年度3月1日現在	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (延長保育1時間延長)	保育サービスの充実 (延長保育2時間延長)	保育サービスの充実 (延長保育3時間以上延長)
事業概要		保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超えて保 育を行うもの	保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超えて保 育を行うもの	保護者の就労形態の多様化等に 伴い保育所の開所時間を超えて保 育を行うもの
数値目標等		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数
現状値		114箇所 (2004年度)	4箇所 (2004年度)	1箇所 (2004年度)
目標値		105箇所 (2009年度)	13箇所 (2009年度)	4箇所 (2009年度)
07年度 実施状 況等	実績値	112箇所	5箇所	3箇所
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	公立保育所(70箇所)及び私立保 育所(42箇所)で実施	私立保育所(5箇所)で実施	私立保育所(3所)で実施 ○3時間延長 1所 ○4時間延長 1所 ○5時間延長 1所
2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
		112箇所 ○公立69箇所 ○私立43箇所(法人移管分1所有)	5箇所 ○公立 -箇所 ○私立 5箇所	3箇所 ○公立 -箇所 ○私立 3箇所
(予算額:千円)		※246,657	※36,931	※42,597
備考 (特記事項)		※予算額は私立分のみ	※予算額は私立分のみ	※予算額は私立分のみ

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部庶務課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (休日保育)	保育サービスの充実 (夜間保育)	保育サービスの充実 (病児・病後児保育)
事業概要		保護者の就労形態の多様化に対応するため、日曜・祝日の保育を行うもの	夜間、保護者の就労等による保育ニーズへの対応を図るもの	病気の状態(回復期を含む)にある児童で、集団保育等が困難な場合に医療機関に付設された専用スペースで一時的に預かるもの
数値目標等		実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数
現状値		6箇所(2004年度)	2箇所(2004年度)	2箇所(2004年度)
目標値		5箇所(2009年度)	2箇所(2009年度)	5箇所(2009年度)
07年度実施状況等	実績値	6箇所	2箇所	3箇所
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	公立(1箇所)、私立(5箇所)で実施	私立保育所2箇所 (開所時間) 午前10時～翌日午前2時	医療機関 3箇所 ○橋高クリニック ○小池やすはら小児クリニック ○いぶき小児科 新規実施施設の開設に向け取り組みを行い、2008年度中に福山市民病院(蔵王町)で開設予定となった。
2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
		6箇所 ○公立 1箇所 ○私立 5箇所	2箇所 ○公立 1箇所 ○私立 2箇所	4箇所 ○橋高クリニック ○小池やすはら小児クリニック ○いぶき小児科 ○福山市民病院
(予算額:千円)		※2,772	—	32,564
備考 (特記事項)		※予算額は私立補助分のみ		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-1 (2-4-3)	2-1-1 (2-4-3)	2-1-2 (3-1-6)
担当部課		児童部庶務課	児童部庶務課	児童部保育課 学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		保育サービスの充実 (一時保育)	保育サービスの充実 (保育所児童保育環境の改善)	保育所・幼稚園の連携, 就学 前教育・保育と小学校の連携
事業概要		保育所に入所していない就学前 児童を, 保護者の傷病・入院, 災 害・事故, 育児等に伴う心理的・ 肉体的負担の解消を図るため, 緊 急・一時的に預かるもの	老朽化が進行する保育所の大型 遊具の更新, 空調設備の整備及び 施設修繕を進めるなど, 保育環境 を改善し児童福祉の向上を図るも の	保育所・幼稚園それぞれの特性 を活かした多様な保育・教育の提 供及び幼児期の教育と小学校以降 の教育との円滑な移行を図るた め, 保育所・幼稚園・小学校間の連 携を図るもの
数値目標等		実施箇所数	—	—
現状値		72箇所(2005年度)	—	—
目標値		75箇所(2009年度)	—	—
07 年度 実施 状況 等	実績値	70箇所		
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 □ 新規 ■】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	保育所未入所児童の保護者の子 育てを支援した。 実施施設数 70箇所 ○公立 56箇所 ○私立 14箇所	○保育所保育室空調設備整備 30室 ○保育所大型遊具更新整備 2所 ○保育所トイレの洋式化 39所(98台) 洋式化率 3才未満…88% 3才以上…56%	○各保育所・幼稚園と小学校にお いて, 個に応じた指導を継続するた め, 入学時等に必要な連携を図っ ている。 ○運動会・発表会・入学前後に子ど も同士の活動の交流, 及びカリキュ ラムの研究
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 73箇所 ○公立 59箇所 ○私立 14箇所	【継続 ■ 廃止 □】 ○保育所保育室空調設備整備 保育室の適温管理のため, 空調 設備を整備 ○保育所大型遊具更新 大型遊具について, 安全性, 経過 年数及び老朽化度等を総合的に勘 案し, 計画的に更新	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施
(予算額:千円)		※23,220	60,000	0
備考 (特記事項)		※予算額は私立分のみ		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-3	2-1-5 (2-4-6)	2-1-6
担当部課		児童部庶務課	(教) 学校教育部指導課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		就学前施設の再整備	幼稚園での預かり保育	短期入所生活援助事業 (ショートステイ・トワイライト)
事業概要		今後の児童数の推移、地域の実態、保護者のニーズ、施設の老朽化などに応じた保育所の再整備を行うもの	私立幼稚園において日常の保育終了後や長期休暇の期間において預かり保育を行うもの	保護者の疾病や疲労、仕事などにより、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設や乳児院においてショートステイを、保護者の仕事などにより平日の夜間などに不在となり、家庭において児童を養育することが困難となった場合にトワイライトを実施するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
07年度実施状況等	実績値	5施設		
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等		<p>○2006年度からの繰越事業</p> <p>公立保育所 1所</p> <p>・増改築 1所(神辺)</p> <p>私立保育所 3所</p> <p>・創設 1所(瀬戸)</p> <p>・増改築 1所</p> <p>(まつい, 大津野統合)</p> <p>・改築 1所</p> <p>(ちとせ, 松尾統合)</p> <p>○2007年度事業</p> <p>私立保育所 1所</p> <p>・改築 1所(大門)</p> <p>○2008年度完成予定</p> <p>公立保育所 2所</p> <p>(有磨(仮称), 蔵王)</p>	私立幼稚園 全23園で実施	<p>○実施箇所</p> <p>・ショートステイ 2ヶ所</p> <p>福山乳児院(0, 1歳)</p> <p>こぶしヶ丘 (2歳以上)</p> <p>・トワイライト 2ヶ所</p> <p>福山乳児院(0, 1歳)</p> <p>こぶしヶ丘 (2歳以上)</p> <p>○利用状況</p> <p>・ショートステイ 5人26日</p> <p>乳児院 1人 4日</p> <p>こぶし 4人22日</p> <p>・トワイライト 利用なし</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<p>○2007年度からの繰越事業</p> <p>公立保育所 2所</p> <p>(有磨(仮称), 蔵王)</p> <p>2008年度完成予定</p> <p>○2008年度事業</p> <p>公立保育所 2所</p> <p>(樹徳(仮称))2009年度完成予定</p> <p>(移管予定保育所土地購入等)</p> <p>私立保育所 1所(東深津)</p>	私立幼稚園で実施	2007年度と同様に実施
(予算額:千円)		663,969	0	183
備考 (特記事項)		※予算額は2007年度からの繰越額及び2008年度予算		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-1-7 (2-4-5)	2-1-8	2-2-1 (2-3-2)
担当部課		児童部子育て支援課	児童部保育課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		ファミリーサポートセンター事業	家庭保育福祉員	ふくやま子育て応援センター
事業概要		保育所などへの児童の送迎及び預かりなど、子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって子育てを地域で支えるもの	一定の資格を持つ人で、自宅の一室を保育室として開放し、乳幼児の保育を行うもの	育児相談、保護者によるサークル活動の支援、子育て支援事業に関する情報提供等地域の子育てを総合的に支援するもの
数値目標等		ファミリーサポートセンター協力会員数	—	—
現状値		114人(2004年度)	—	—
目標値		190人(2009年度)	—	—
07年度実施状況等	実績値	164人		
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○援助の希望にできるだけ応じ、相互援助活動がスムーズにいくよう努めてきた。</p> <p>○活動延べ件数(2,662)は、前年度比10%増、主に学童の迎え、帰宅後の預かりの増加に因る。</p> <p>2008年3月末会員数 依頼会員 521人(484人) 協力会員 164人(161人) 両方会員 78人(75人) ()内は2007年3月末</p> <p>【課題】 依頼会員の増加に比べて、協力・両方会員の増加が少ない。</p>	<p>福祉員数 2名 受諾児童数 平均7名</p>	<p>去年比、相談件数(1,996件)は減少、しかし、情報提供数(2,544件)は約14%増となっている。</p> <p>〔()内は、2008年3月末件数〕 あんしん子育て応援ガイド配付・ホームページの充実が要因と考えられる。</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<p>○地域バランスを勘案した協力会員の確保</p> <p>○協力会員の研修は、開催場所・日時や活動に即した内容を工夫し、参加者の拡大を図る。</p>	<p>福祉員数 1名 受諾児童数 平均6名</p>	<p>○「まなびの館ローズコム」への移転(7月1日)</p> <p>○子育て支援事業に関するタイムリーな情報提供と利用促進</p> <p>○他の各種子育て支援事業との連携</p>
(予算額:千円)		7,482	885	—
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-2-2 (2-3-3)	2-2-3 (3-2-1)	2-2-5
担当部課		児童部保育課	児童部子育て支援課	人権推進部青少年課
具体的な施策 (個別事業名)		地域子育て支援センター事業	家庭児童相談室	ぐりとぐら広場 (福山市自然研修センター ふくやまふれ愛ランド)
事業概要		保育所を拠点として子育て一般 家庭への子育て支援事業を行うもの	家庭における適正な児童養育、 その他家庭児童福祉の向上を図る ため家庭児童相談室を設置し、相 談員が家庭における児童養育に関 する相談に応じ、必要な助言指導 を行うもの	就学前児童と保護者を対象に、 ふくやまふれ愛ランドで、コミュ ニティの場の提供や絵本の読み聞 かせ、保育士による親子でのふれ あい遊び、保健師による育児相談 など子育て支援事業を行うもの
数値目標等		—	子育てに関する不安や負担感	—
現状値		—	就学前児童60.8%, 小学生児童56.1%(2003年度)	—
目標値		—	減少(2009年度)	—
07年度実施状況等	実績値		未調査	
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
実施内容及び課題等	<p>子育て応援センター、地域の拠点保育所を中心として、それぞれの地域保育所が連携し、家庭で子どもを保育している保護者や子どもを対象に遊びの場・相談の場として実施</p> <p>2007年度より、公立拠点保育所において、電話相談・来訪相談を各週1回(月～土)を実施</p> <p>実施箇所 17箇所</p> <p>○センター型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 6所 ・ふくやま子育て応援センター ・私立保育所 2所 <p>○小規模型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所 6所 <p>○ひろば型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所 2所 	<p>○家庭児童相談員4名配置(ひとり親家庭自立支援員と兼務)</p> <p>○相談件数 284件</p>	<p>遊具を使った自由遊びやリズム遊び・子育て相談等を実施する中で、様々な利用者ニーズに応じた子育て支援事業を実施した</p> <p>実施回数 157回 参加者数 3,080人</p>	
2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
	<p>継続して実施</p> <p>実施箇所 19箇所</p> <p>○センター型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 6所 ・ふくやま子育て応援センター ・私立保育所 3所 <p>○ひろば型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所 9所 	継続実施	継続して実施	
(予算額:千円)	113,862	※11,355	0	
備考 (特記事項)		※母子相談事業[4-2-3]と合算		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-2-8	2-3-1
担当部課		(教) 学校教育部指導課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		幼稚園での子育て支援事業	子育て支援サービスの ネットワークづくり
事業概要		育児相談による子育て不安の解消を図るとともに、保育所等関係機関との関連による子育て支援事業に関する情報提供を行うもの	子育て支援サービスのネットワークを構築し、様々な子育て支援事業についてタイムリーな情報提供を行うとともに、次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況の把握、課題の抽出、今後のあり方等の検討及びその他子育て支援関係事業の調査研究を行うもの
数値目標等		—	—
	現状値	—	—
	目標値	—	—
07年度実施状況等	実績値		
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○育児相談による子育て不安の解消</p> <p>○すべての公立幼稚園(22園)において、各園未就園児の会を計画し、幼児同士のふれあいや子育て相談を実施</p> <p>○すべての私立幼稚園(23園)において、未就園児に対する園庭開放や、在園児童とのふれあいの機会を提供し、工作・折り紙などのものづくりを実施</p>	<p>○2005年度に設置した子育て支援ネットワーク委員会(福山市行政及び社会福祉協議会で構成)を4月と3月に開催し次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況の把握、課題の抽出、今後のあり方等を検討した。</p> <p>○あんしん子育て応援ガイドを34,700部作成し配布。</p> <p>○インターネットホームページによる子育て支援の情報提供「子育てe-支援情報!」の充実及びキーワードによる検索方法の効率化を図った。</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 <p>○あんしん子育て応援ガイドの発行</p> <p>○インターネットホームページの子育て支援情報(子育てe-支援情報!)の充実</p> <p>○次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況の把握、課題の抽出、今後のあり方等の検討</p> <p>○定期的な子育て支援ネットワーク会議の開催</p>
(予算額:千円)		0	450
備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-4-1	2-4-2
担当部課		経済部労政課	人権推進部男女共同参画センター
具体的な施策 (個別事業名)		女性雇用対策事業等	学習・啓発事業
事業概要		国、県、関係団体と連携し、労働者及び事業主に対し、男女雇用機会均等や仕事と家庭の両立支援についての広報、啓発、研修、情報提供等を行うもの。	「男女共同参画推進条例」及び「男女共同参画基本計画」の推進により、家庭生活とその他の活動が両立できるまちづくりに取り組むもの 子育てと仕事の両立支援に関しては、男女共同参画センターで実施する講座において啓発する
数値目標等		—	—
現状値		—	—
目標値		—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○広島労働局、広島県、(財)21世紀職業財団等との共催による各種セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女雇用機会均等セミナー 参加者 73人 ・両立支援対策セミナー 参加者 88人 <p>○福山地方雇用対策協議会、福山人権啓発企業連絡会と連携し、各種セミナーの情報提供</p> <p>○福山市勤労女性センターにおける仕事と家庭の両立に関する講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康セミナーや料理教室等を38回実施(参加者数 867人) <p>○若年求職者を対象とした就職支援ワークショップの開催及び「ひろしま若者しごと館福山サテライト」の県との共同実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援ワークショップ 2回実施 参加者数 12人 ・ひろしま若者しごと館福山サテライト 来所者数 921人 相談件数 580件 	<p>○再就職、就業援助セミナー 「いきいきと働くために必要な情報発見！」(5月 2回) 「夢をかなえる上手な時間とお金の活用法」(3月 2回)</p> <p>○子育て応援セミナー 「子どもも自分もみんな大切！」 (9月~10月 6回)</p> <p>○子育てに関する講演会 「8歳で脳は決まる！子どもを救う親の力」(4月・1月 2回)</p> <p>○家族のコミュニケーションセミナー (7月~8月 3回)</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<p>継続して実施 ※但し、福山市勤労女性センター廃止に伴い、センターで行っていた事業については、労政課、男女共同参画センターにおいて実施予定。</p>	<p>○再就職、就業援助セミナー (3月 2回)</p> <p>○男性の料理教室セミナー (8月 4回)</p> <p>○子育て支援セミナー (8月~9月 3回)</p> <p>○子育てに関する講演会 (2月 1回)</p> <p>○家族のコミュニケーションセミナー (7月~8月 3回)</p> <p>○家庭生活セミナー(7月~8月 3回)</p>
(予算額:千円)		15,017	202
備考 (特記事項)			2008年度の機構改革により勤労女性センターの講座を一部引き継ぐ

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-4-4 (2-1-4・3-5-1・4-3-2)	2-5-1	2-5-2
担当部課	社会教育部社会教育振興課	社会教育部社会教育振興課	保健所健康推進課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)	放課後児童クラブ事業	放課後児童クラブ事業	不妊治療扶助	乳幼児等医療費
事業概要	保護者の就労支援と児童の健全育成のため、授業終了後に小学校の余裕教室やプレハブ教室などを利用して、適切な遊びや生活の場を提供するもの	不妊治療に係る費用の一部を助成するもの	乳幼児等が病院へ通院又は入院した際の保険医療費に係る自己負担分の一部を助成するもの	
数値目標等	放課後児童クラブ開設か所数	—	—	
現状値	75か所 (2004年度)	—	—	
目標値	75か所 (2009年度)	—	—	
07年度実施状況等	実績値	75か所		
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
2008年度計画	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○開設 75か所 <ul style="list-style-type: none"> ・公設公営 72か所 ・民設民営 3か所 ○開設時間 <ul style="list-style-type: none"> ・学期中 <ul style="list-style-type: none"> 月～金 13:30～18:00 土 8:30～13:45 ・長期休業中 <ul style="list-style-type: none"> 月～金 8:30～18:00 土 8:30～13:45 ○環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・緑丘放課後児童クラブプレハブ増築 ・空調整備 51か所 ○東村放課後児童クラブを新設 	<ul style="list-style-type: none"> 指定医療機関で、体外受精または顕微授精に要した費用に対して1回あたり10万円を限度として同一年度2回助成し、助成期間は5年 不妊治療決定者 292人 	<ul style="list-style-type: none"> ○助成内容 <ul style="list-style-type: none"> [入院]0歳児から小学校6年生まで [通院]0歳児から就学前まで ○一部負担金 <ul style="list-style-type: none"> 1医療機関につき1日500円の一部負担金有り(入院は月14日まで、通院は月4日まで) ○受給者数 28,079人
	2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
(予算額:千円)	542,083	21,000	635,371	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-3	2-5-4	2-5-5
担当部課		保健所保健予防課	保健所保健予防課	保健所保健予防課
具体的な施策 (個別事業名)		小児慢性特定疾患医療費	未熟児養育医療費	自立支援医療(育成医療)費
事業概要		小児慢性特定疾患の保険医療費の自己負担分を助成するもの	出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費の自己負担分を助成するもの	身体上の障害を有する児童等に対し、障害を軽減、改善するために要する保険医療費の自己負担分を助成するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
07年度実施状況等	実績値			
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○対象疾患 悪性新生物、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血友病等血液・免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患</p> <p>○対象者 18歳未満の児童(ただし、満18歳の時点で継続治療の必要な人は20歳未満まで)</p> <p>○助成 小児慢性特定疾患の保険医療費の自己負担分の一部を助成するもの。なお、医療機関に支払う患者の月額負担限度額は、生計中心者の所得税額等により決定される。</p> <p>助成件数 4,795件</p>	<p>出生体重が2,000g以下または未熟なまま生まれた乳児の状態を改善するための保険医療費に係る自己負担分の一部を所得に応じて助成するもの。</p> <p>助成件数 408件</p>	<p>身体上の障害を有する児童等に対し、障害を軽減、改善するために要する保険医療費の自己負担分の一部を助成するもの。</p> <p>なお、医療機関に支払う患者の自己負担は原則として医療費の1割であるが、所得の状況等に応じて月額の負担限度額が定められている。</p> <p>助成件数 514件</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 4,700件	【継続 ■ 廃止 □】 330件	【継続 ■ 廃止 □】 500件
(予算額:千円)		131,600	29,700	7,320
備考 (特記事項)				2008年度から担当部課が障害福祉課へ変更

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-6	2-5-7	2-5-8
担当部課		児童部子育て支援課	福祉部障害福祉課	保健所健康推進課
具体的な施策 (個別事業名)		ひとり親家庭等医療費	重度心身障害者医療費	幼児インフルエンザ予防接種費
事業概要		ひとり親家庭等の親又は児童が 病院へ通院又は入院した際の保険 医療費に係る自己負担分の一部を 助成するもの	重度の障害のある障害児(者)が 病院へ通院又は入院した際の保険 医療費に係る自己負担分から一部 負担金(1日100円、入院・通院と も月4日まで)を差し引いた額を 助成するもの	幼児インフルエンザ予防接種に 係る費用の一部を助成するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
07 年度 実施 状況 等	実績値			
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容 及び課題等	○対象年齢 18歳到達後初めての3月末までの 児童を現に扶養している配偶者の ない人とその児童 ○所得制限 本人及び生計を同一にする扶養 義務者が所得税非課税であること ○一部負担金 1医療機関につき1日250円の一部 負担金有り(入院・通院とも月4日ま で) ○受給者数 7,595人	医療費助成の実施 受給者数 10,304人 ○65歳未満 4,458人 ○65歳以上 5,846人	インフルエンザ予防接種実施医療 機関で接種が終了した幼児(1歳か ら就学前までの幼児)の保護者に、 予防接種に要した費用に対して同 一年度、一人あたり3,000円を限度 として補助する。 補助件数 13,490件
	2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 2008年8月から一部負担金を本 来額の500円とする。	【継続 ■ 廃止 □】 医療費助成の実施 受給者数 10,360人 ○65歳未満 4,510人 ○65歳以上 5,850人	【継続 ■ 廃止 □】 補助件数:14,200件
	(予算額:千円)	163,901	1,277,590	42,600
	備 考 (特記事項)			2008年度から担当課が保健所保 健予防課へ変更

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-9	2-5-10	2-5-11
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	福祉部障害福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		児童手当	児童扶養手当	特別児童扶養手当
事業概要		小学校修了前までの児童を養育している保護者に対し、手当を支給するもの	父母の離婚、父の死亡などにより、父のいない児童を養育している母又は養育者に対し手当を支給するもの	20歳未満の心身障害児を監護する父母などに手当を支給するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○受給者数 31,345人 児童数 51,224人</p> <p>○支給額(月額)</p> <p>3歳未満 一律 10,000円</p> <p>3歳以上 第1・2子 5,000円</p> <p> " 第3子以降 10,000円</p> <p>○制度改正(2007年4月1日)</p> <p>3歳未満の手当額を一律10,000円(月額)に引き上げ</p>	<p>○受給者数 4,016人</p> <p>○支給額</p> <p>全部支給 月41,720円</p> <p>一部支給 月41,710円~9,850円</p>	<p>支給申請の受付</p> <p>○受給者数 661人</p> <p>○支給単位(広島県支給)</p> <p>1級 月 50,750円</p> <p>2級 月 33,800円</p> <p>※支給に関しては、厚生労働省が実施</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 ○支給申請の受付 ○2008年4月1日より、広島県より認定等事務の事務委託される。
(予算額:千円)		3,919,800	1,993,786	0
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-12	2-5-13	2-5-14
担当部課		福祉部障害福祉課	児童部子育て支援課	福祉部障害福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		障害児福祉手当	福山市遺児年金	重症心身障害者福祉年金
事業概要		20歳未満の身体障害者手帳、療育手帳等を所持する重度の障害児に対し手当を支給するもの	福山市に引き続き2年以上居住する児童で、父母のいない児童、父又は母のいない児童その他これに準じる状態にある児童の養育者に対し、年金を支給するもの	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持する者に対し年金を支給するもの(支給対象) 福山市に2年以上居住し、次のいずれかに該当する人 ①身体障害者手帳1～3級②療育手帳A～B③精神障害者保健福祉手帳1,2級④障害基礎年金1,2級の受給者等
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	07年度実施状況等 実施内容及び課題等	手当の支給 ○受給者数 269人 ○支給単位 月14,380円	○受給者数 4,343人 (2007年12月期支払) 父母のいない児童 23人 父又は母のいない児童 4,320人 ○支給額 父母のいない児童 年 41,000円 父又は母のいない児童 年 22,000円	福祉年金の支給 (障害児) ○1人あたり年間 22,000円 ○受給者 632人
2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	
(予算額:千円)		44,866	148,835	177,460
備考 (特記事項)			単市制度	単市制度 ※予算額は全体

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-15	2-5-16	2-5-17
担当部課		児童部庶務課	(教) 学校教育部学事課	(教) 学校教育部学事課
具体的な施策 (個別事業名)		●保育所保育料の多子軽減	就園奨励費(幼稚園)	就学援護費
事業概要		同時に保育所等へ入所している 家庭の2人目の児童の保育料を半 額,3人目以降の児童の保育料を無 料にし保護者負担の軽減を図るも の	私立幼稚園に通園する児童の保 護者の経済的負担を軽減するた め、入園料・保育料の一部を補助 するもの	経済的理由で就学に必要な費用 の支払いが困難な人への援助
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	同一世帯から保育所の他に幼稚 園を利用している児童も多子軽減 の対象に含めることにより、保育料 の軽減を図った。	認定者 3,035人	認定者 5,706人
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 同一世帯から保育所、幼稚園の ほかに障害児通園施設等に入所又 は児童デイサービスを利用している 就学前児童も多子軽減の対象に含 める。	【継続 ■ 廃止 □】 認定者見込み 2,850人	【継続 ■ 廃止 □】 認定者見込み 5,480人
(予算額:千円)		—	231,189	312,769
備考 (特記事項)		●個別事業名の変更あり 「保育所保育料の3人目以降の無 料化」→「保育所保育料の多子軽 減」に2007年度から変更		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	2-5-18	3-1-1	3-1-1
担当部課	児童部子育て支援課	(教) 学校教育部指導課	(教) 学校教育部指導課	(教) 学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)	母子寡婦福祉資金貸付金	確かな学力の向上	確かな学力の向上 (少人数指導推進支援事業)	
事業概要	母子家庭の児童などが修学するために必要な学費などについて貸付を行うことにより、母子家庭等の福祉の向上を図るもの	子ども一人ひとりに応じた指導の充実、基礎基本の習得、個性を伸ばし、選択能力を向上させる取組を進めるもの	小学校35校、中学校15校に非常勤講師(少人数指導推進員)を配置し、国語、算数、数学、英語を基本に、基礎的な学力の定着を図るための少人数指導等の工夫改善に取り組むもの	
数値目標等	—	基礎基本定着状況調査の正答率	—	
現状値	—	小学校:国75.4%, 算78.4%, (2006年度) 中学校:国80.9%, 数68.8%, 英72.5%(2006年度)	—	
目標値	—	全実施教科で80%以上(2010年度)	—	

07年度実施状況等	実績値		小学校:国62.7%, 算74.4%, 中学校:国71.6%, 数65.9%, 英70.7%																								
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】																							
	実施内容及び課題等	<p>[貸付状況]</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="3">母子</td> <td rowspan="3">新規</td> <td>修学資金</td> <td>63 件</td> </tr> <tr> <td>技能習得資金</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>就学支度資金</td> <td>41 件</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>小計</td> <td>105 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">寡婦</td> <td rowspan="3">継続</td> <td>修学資金</td> <td>79 件</td> </tr> <tr> <td>技能習得資金</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>80 件</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>計</td> <td>186 件</td> </tr> </table>	母子	新規	修学資金	63 件	技能習得資金	1 件	就学支度資金	41 件			小計	105 件	寡婦	継続	修学資金	79 件	技能習得資金	1 件	小計	80 件			計	186 件	<p>○授業計画の充実</p> <p>○一人ひとりに応じたきめ細かな指導、評価規準や評価方法の工夫・改善</p> <p>○校内研修、公開研究会の積極的な実施</p> <p>○福山市研修センター教職員研修講座の改善・充実</p>
母子	新規	修学資金			63 件																						
		技能習得資金			1 件																						
		就学支度資金	41 件																								
		小計	105 件																								
寡婦	継続	修学資金	79 件																								
		技能習得資金	1 件																								
		小計	80 件																								
		計	186 件																								
2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】																								
(予算額:千円)	※133,950	0	115,680																								
備考 (特記事項)	※内、貸付金133,000千円																										

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-1	3-1-1	3-1-2
担当部課		(教) 学校教育部指導課	(教) 学校教育部指導課	(教) 学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		確かな学力の向上 (学校評価推進事業)	確かな学力の向上 (キャリア教育推進事業)	英語教育の推進
事業概要		外部評価を活用して学校の自己評価の精度を高め、保護者、地域への説明責任を果たすとともに、本市学校教育の質的向上を図るもの	児童生徒にしっかりとした勤労観・職業観を身に付けさせるための「チャレンジ・ウィークふくやま」(地域で進める5日間の職場体験学習)を実施し、キャリア教育の推進を図るもの	聞く、話すことに重点を置いた実践的コミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際理解教育を推進するもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価自己評価の充実 ・学校評価委員会による組織的な取組み ・「目標の連鎖」「選択と集中」による実効ある取組み ○外部評価の導入による客観的かつ総合的な評価の確立 ・外部評価グループの編成 ・外部評価連絡協議会の実施 	チャレンジ・ウィークふくやま 実施期間 8月20日～8月24日 中学2年生 3,750人 <ul style="list-style-type: none"> ○受入れ先の確保と円滑な実施に向けての体制づくり ○学校及び受け入れ事業所に配布する指導の手引の作成 ○推進委員会における各学校の取組みの交流 ○リーフレットや広報ふくやま等を通じての市民への啓発 ○支援会議における本年度の成果と課題の整理 ○報告会の開催 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ○公的施設での受け入れ拡大 ○課題意識や目標を明確にしての参加 	中学校全クラスが、2週間に1回は英語指導助手(ALT)と授業をした。 <ul style="list-style-type: none"> ○英語指導助手(ALT)の増員(14名→17名) ○英語指導助手(ALT)の小学校への派遣開始 ○英語教育の指導力向上のための研修を実施
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 <ul style="list-style-type: none"> ○実施予定日 8月18日～22日(5日間) ○実施形態 全市一斉実施 ○対象者 中学校2年生 	【継続 ■ 廃止 □】 計画的に英語指導助手の増員を図る。
(予算額:千円)		205	510	109,923
備考 (特記事項)				神辺町においては、2008年度まで非常勤講師を4名配置する。

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-3	3-1-4 (3-4-1・3-5-3)	3-1-4 (3-4-1・3-5-3)
担当部課		(教) 学校教育部指導課	(教) 学校教育部指導課	経済部農業振興課
具体的な施策 (個別事業名)		読書教育の推進	豊かな心の育成	豊かな心の育成 (園芸センター農業体験)
事業概要		各校の蔵書を質的量的に整備し、読書教育の充実を図るもの	豊かな体験活動をもとに、子どもの道徳性や自己指導能力を育成し、生涯にわたり、たくましく生きていくための健康・体力づくりを推進する。	農業体験を通じて自然や農業に触れ合う場を提供し、児童生徒の豊かな情操を養い、健全な育成を図るもの
数値目標等		●全学校が学校図書館 図書標準を達成する	—	—
現状値		小学校達成56校/78校 (2006年度) 中学校達成19校/36校 (2006年度)	—	—
目標値		全校100% (2007年度)	—	—
07年度実施状況等	実績値	全校100%		
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
2008年度計画	実施内容及び課題等	○図書量の充実 ・学校図書館図書標準を目標に学校図書館の蔵書を整備 ・蔵書数に応じた図書費の追加配分を実施 (目標の100%を達成) ○図書質の向上 ・各学校に読書年間指導計画等の作成を指導 ・計画的な読書教育の推進、蔵書内容の充実を図るように指導	○子どもの自律を育成する指導体制の充実 ○「チャレンジウィークふくやま」の実施、ボランティア活動や乳幼児との交流体験などの社会体験活動、自然体験活動の充実 ○食事の摂取割合の向上と楽しい給食の時間の推進 ○子どもの心に響く道徳教育の実践、人権感覚を育む道徳教育の充実 ○健康・体力づくりのための推進計画の作成・実施 ○体力テストの実施による子どもの体力の実態把握	金江小学校3年生23人を受入れ、花壇の草花苗の定植を行った。 (6月13日マリーゴールド等800株)
		【継続 ■ 廃止 □】 引き続き、図書質の向上を図る。	【継続 ■ 廃止 □】 ○継続実施と規律ある学校づくりの推進 ○規範意識の育成を図る。	【継続 ■ 廃止 □】 夏花壇の定植
(予算額:千円)		15,470	510	0
備考 (特記事項)		●目標達成により数値目標を削除		福山市園芸センター農業体験実施要領に基づき実施

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-4 (3-4-1・3-5-3)	3-1-5	3-1-7
担当部課		経済部農業振興課	(教) 学校教育部指導課	(教) 学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		豊かな心の育成 (園芸センター親子農業体験教室)	不登校児童生徒への取組	就学前施設の再整備
事業概要		農業体験を通じて子どもたちの生きる力を養い、広く市民の農業への理解を深め、あわせて親子のコミュニケーションづくりに役立てるもの	児童生徒一人ひとりが安心して生活できるよう、学校における教育相談体制の整備、いじめ・不登校対策の充実を図るもの	今後の児童数の推移、地域の実態、保護者のニーズに応じた幼稚園の整備を行うもの
数値目標等		—	不登校児童生徒出現率	—
現状値		—	1.53% (2006年度)	—
目標値		—	1.17% (2010年度)	—
07年度実施状況等	実績値		1.55%	
	区分	【継続 □ 新規 ■】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜部門 4月28日にタマネギの栽培等の講習及び収穫を13組26人が参加した。 ○花卉部門 8月11日にキクの栽培等の講習及び収穫を5組16人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修センターの相談活動の充実 ○適応指導教室「かがやき」の運営 ○スクールカウンセリングプロジェクト事業の推進 ○校内教育相談体制の充実 ○学習活動推進事業の推進 ○不登校対策実践指定校事業、不登校児童生徒支援モデル事業の実施 ○全児童生徒の定期的な個人面接の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○就学前施設全体での幼稚園の役割、集団保育機能を基本とした効率的な幼稚園運営を推進 ○神辺幼稚園廃園 ○大津野・西深津幼稚園 休園 ○施設整備 ・遊戯室冷暖房設備設置 5園 ・大規模改修 1園
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<ul style="list-style-type: none"> ○野菜部門 4月26日にタマネギの栽培等の講習及び収穫体験を実施 ○花卉部門 8月上旬にキクの栽培等の講習及び収穫体験を実施 	継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> ○東幼稚園 2年保育実施 ○樹徳幼稚園 廃園 ○川口幼稚園 休園 ○施設整備 大規模改修 1園
(予算額:千円)			51,929	1,200
備考 (特記事項)		2007年度新規事業(追加)		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-2-2 (2-2-7・3-6-1)	3-2-2 (2-2-7・3-6-1)	3-3-1 (3-5-2)
担当部課		社会教育部中部ブロック社会教育センター	社会教育部中部ブロック社会教育センター	人権推進部青少年課
具体的な施策 (個別事業名)		子育て支援交流事業の充実	子育て支援交流事業の充実 (家庭教育支援総合推進事業)	自然研修センター事業 (ふくやまふれ愛ランド)
事業概要		公民館において、親子のふれあいの場や保護者同士の交流を図ることで、子育ての悩み相談をするなど、地域で互いに子育てをしていくきっかけづくりをするもの	家庭教育支援の充実を図るため、保護者が参加するさまざまな機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供を推進するもの	自然環境の中で宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じて、青少年の健全育成を図るもの
数値目標等		事業実施箇所数	—	—
現状値		全地区公民館で実施	—	—
目標値		全地区公民館で実施	—	—
実績値		全地区公民館(79館)で実施		
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
07年度実施状況等	実施内容及び課題等	<p>○福山市内の全公民館において、年間各館1回以上実施している。</p> <p>○核家族化が進み、子育ての悩みを抱える保護者に親子のふれあいの場を提供することで、親同士の交流と育児情報の交換、実技体験を通じての育児ストレスの解消をはかり、お互いのコミュニケーションを図ることが求められている。</p> <p>【課題】 講座に参加できていない保護者に対して参加の呼びかけ等の工夫が必要である。地域の子育てサポーターの充実</p>	<p>○就学前の子どもの保護者を対象とする子育て講座 126回実施</p> <p>○就学前の子どもの保護者を対象に、子育てに関する講演会を保育所保護者会、幼稚園PTA参観日などの機会を活用して開催した。</p> <p>○思春期の子どもの保護者を対象とした子育て講座 20回実施</p> <p>○子育てに関する講演会を小学校(高学年)、中学校のPTA参観日などの機会を活用して開催した。</p> <p>○父親の家庭教育参加を考える集い 4回実施</p> <p>○父親の家庭教育への参加を促進するため、父親と子どものふれあいを深める講座を開催した。</p>	<p>宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じた、多様な体験活動の機会の提供等による青少年の健全な育成の推進を図った。</p> <p>また、青少年の活動拠点として、積極的な受入れと活動を展開した。</p> <p>宿泊利用者 27,268人 一日利用者 25,926人 開所日数 331日</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 全地区公民館(79館)で実施予定	【継続 □ 廃止 ■】	【継続 ■ 廃止 □】 宿泊研修、野外活動、体験農業、遊びの指導等を通じた、多様な体験活動の機会の提供等による青少年の健全な育成の推進を図る。 青少年の活動拠点として、積極的な受入れと活動を展開する。 また、キャンプ場に食事棟を整備し雨天対応の課題解決を図るとともに、更なる利便の向上を図り、自然研修センター事業の充実に取り組む。
(予算額:千円)		632		105,868
備考 (特記事項)			2008年度から、地域における家庭教育支援基盤形成事業により実施	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-3-3	3-3-4 (3-5-7)	3-3-5
担当部課	社会教育部市民図書館 他(※)	社会教育部市民図書館 他(※)	社会教育部中部ブロック社会教育センター	スポーツ振興課
具体的な施策 (個別事業名)	職場体験学習・インターンシップ の受け入れ	職場体験学習・インターンシップ の受け入れ	子どもの居場所づくり事業 (※放課後子ども教室)の推進	生涯スポーツの振興
事業概要	中高校生の勤労体験学習の実施	地域の協力を得て、子どもたちが放課後等に安全・安心して過ごせる居場所づくりを行うもの	地域の協力を得て、子どもたちが放課後等に安全・安心して過ごせる居場所づくりを行うもの	各種大会の開催、地域への指導者の派遣、指導者の養成、気軽にできるスポーツの普及、学校施設を開放しての地域交流の推進を図るもの
数値目標等	—	—	※放課後子ども教室実施箇所数	—
現状値	—	—	22箇所(2004年度)	—
目標値	—	—	全学区で実施(2009年度)	—
07年度実施状況等	実績値		33箇所	
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
2008年度計画	実施内容及び課題等	市公共施設で16校34人の職場体験学習・インターンシップを受け入れた。(「チャレンジウイークふくやま」による受け入れを除く) ○図書館 9校 19人 ・市民図書館 2中学校 4人 ・松永図書館 1高校 2人 ・北部図書館 1高校 5人 ・東部図書館 3高校 5人 ・沼隈図書館 1高校 1人 ・新市図書館 1高校 2人 ○光寿園 2校 7人 1中学校 5人 1高校 2人 ○美術館 4校 6人 1中学校 2人 3高校 4人 ○生活相談課 1中学校 2人	33学区で実施 放課後等に小学校の図書室や空き教室等を利用し、地域住民の安全管理員の指導のもと、交流事業などを実施し、安全・安心な居場所づくりを実施するとともに、コーディネーターを配し、広報紙として「げんき情報局」を発行した。	○スポーツ教室等の開催 ・Happyスポーツ塾 ・地域スポーツ教室 ・スポーツデリバリーサービス ・ふくやまスポーツクラブ ・競技力向上事業 ・競技人口拡大事業 ○各種大会行事の開催 ・陸上競技場で遊ぼうDAY ・ローズアリーナフェアー ・わくわくヨット教室 ・ふくやまマラソン ・竹ヶ端運動公園水泳場無料開放
		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
(予算額:千円)	0	0	7,527	11,441
備考 (特記事項)	(※) その他の関係部署 福祉部光寿園 ふくやま芸術文化振興財団 市民部生活相談課	(※)「地域子ども教室」→「放課後子ども教室」に2007年度から変更		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-3-5	3-4-3 (3-5-5)	3-5-4
担当部課		スポーツ振興課	児童部保育課	(教) 学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		生涯スポーツの振興 (沼隈運動場整備)	世代間交流事業	児童生徒の健全育成の啓発、指導
事業概要		おとなから子どもまでスポーツを楽しんだり、世代間交流ができる運動場を整備するもの	保育所において老人会などと連携して、世代間交流を行い、地域の子育て機能の充実を図るもの	学校教育ビジョンに基づく豊かな心の育成をめざす取組み、性教育、関係機関との連携等により、子どもの健全育成の啓発、指導を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	北側駐車場を整備し、事業完了となった。	高齢者とのふれあい(伝承遊び・伝統行事の伝承)のなかで、核家族では体験しにくい祖父母の温もりを体験するため実施 職場体験学習の中学生を受け入れ、保育所児童との交流を図る 実施箇所 84箇所 ・公立保育所 70箇所 ・私立保育所 14箇所	○性の逸脱行為等に対する保健の教科をはじめ、特別活動や道徳活動等での指導 ○問題行動等について関係機関との連携、組織的な対応の推進 ○スクールカウンセラーと教師が一体となった家庭への支援 ○警察の少年サポートセンターとの積極的な連携 ○定期的、集中的な学校訪問による実態把握と現状分析、効果的な指導の実施
2008年度計画	【継続 □ 廃止 ■】	沼隈運動場整備完了	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施 実施箇所 83箇所 ・公立保育所 69箇所 ・私立保育所 14箇所	【継続 ■ 廃止 □】 ○継続して実施 ○あらゆる機会を通して子どもの規範意識の育成を図っていく。
(予算額:千円)		0	14,710	0
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-5-8	3-5-9	3-6-3
担当部課		市民図書館	環境部環境保全課	児童部保育課 児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		読書活動推進に向けた整備	こどもエコクラブ事業	地域住民, 民間団体の 子育て力の育成と協働
事業概要		図書館の蔵書の充実及び読書に親しむ環境づくりを推進するもの	子どもたちが地域において主体的に継続的な環境活動・学習を行う機会を提供し, 支援するもの	地域子育て支援センターや子育てボランティアの養成等を通じた地域住民の子育て力の育成, 民間団体と市や関係機関等が実施する子育て支援事業の情報交換の推進を図るもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○絵本と出会うふれあい事業 市内の乳幼児健診会場など35ヶ所で開催した。</p> <p>○あかちゃんといっしょのおはなし会 全図書館で毎月2回実施した。</p> <p>○おはなし会, 工作教室, ビデオ上映会などを全図書館で実施した。</p>	<p>クラブ数 9クラブ 会員数 252人</p> <p>【実施内容】 ○磯の生き物調査 ○星空観察会 等</p> <p>【課題】 ○会員数の拡大 ○各クラブ間の交流の充実</p>	<p>○子育てボランティア養成にあたっては保護者の置かれている社会状況・親の意識の変化, 保育所の役割・支援の状況を支援活動を見学してもらいながら情報提供した。(1講座)</p> <p>○子育て応援センターにおけるファミリー・サポート・センター事業や各種子育てサークルの充実, 子育てボランティアの養成等を通じて, 地域住民の子育て力の育成を行った。</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 全図書館で, 絵本と出会うふれあい事業, あかちゃんといっしょのおはなし会, 工作教室, ビデオ上映会などを実施する。	【継続 ■ 廃止 □】 ○9クラブ, 300人程度 ○研修会・自然観察会開催予定	【継続 ■ 廃止 □】 引き続きボランティア養成を推進する。 NPO・ボランティアとの連携を図り, 協働による子育て事業を推進する。
(予算額:千円)		0	205	0
備考 (特記事項)			2008年度から担当部課が環境部環境啓発課へ変更	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-6-4	4-1-1	4-1-1
担当部課		福祉総務部福祉総務課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		地域全体で子育てを見守り、 支え合う活動の推進	児童虐待防止ネットワークの構築	児童虐待防止啓発事業 (オレンジリボンキャンペーン)
事業概要		民生委員児童委員との連携により、 地域全体で子育てを見守り、 支え合うネットワークづくりを推 進するもの	関係機関との情報の共有、連携 による児童虐待の未然防止、早期 発見、効果的対応を行うために ネットワークを構築するもの	悲惨な児童虐待事件を契機に虐 待の現状を広く知らせ、虐待を防 止し、虐待を受けた子どもが幸福 になれるようにとの願いが込めら れた「オレンジリボン」を「児童虐 待防止」の象徴として広めるキャ ンペーンを推進するもの
数値目標等		—	虐待していると思ったこと	—
現状値		—	就学前児童12.7%、小学校児童9.3%(2003年度)	—
目標値		—	減少(2009年度)	—
07 年度 実施 状況 等	実績値		未調査	未調査
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 □ 新規 ■】
	実施内容 及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員児童委員が子育てに関 する情報提供や、子どもに関する相 談を受けたり、支援を行った。 ○民生委員児童委員が子育てサー クルや子ども会等の児童健全育成 に関する活動に支援や参画を行っ た。 ○児童虐待に関して、市やこども家 庭センターへ相談や通告を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待防止ネットワーク活動 ○2005年4月1日設置 福山市行政8部、関係機関・団体 20で構成 ○代表者会議(8月7日) ○実務者会議(10月18日) ○実務者研修会の開催(2月1日) ○ケース会議(60回) ○虐待通告 89件 児童虐待防止推進月間(11月)事業 ○広報ふくやまによる啓発 ○市民向けリーフレットの作成・配布 ○児童虐待防止啓発講演会の開 催(11月8日) ○児童虐待防止啓発用懸垂幕の 作成・懸垂(11月中懸垂) ○ふくやまこどもフェスティバル等 における啓発展示 	<ul style="list-style-type: none"> オレンジリボンキャンペーンの実施 啓発チラシ、ティッシュ、花の種、 オレンジリボンを配布したほか、イ ベントにおいては、啓発パネル展示、 オレンジリボン作製講習会を実施し た。 ○街頭啓発(11月1日) ○健康ふくやま21フェスティバル 2007(10月20日、21日) ○ふくやまこどもフェスティバル (11月3日、4日) ○人・まち・ふくしフェスタ2007@ ぬまくま(11月11日)
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き児童虐待防止のための 市民啓発に取り組むほか、ネット ワーク関係者の研修を行う。 ○育児、栄養等の相談、子育て支 援情報の提供により、虐待の未然 防止に取り組む。 ○要保護児童対策地域協議会への 移行に向けての取組を推進する。 	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施
(予算額:千円)		83,214	310	373
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-1-3 (2-2-4)	4-2-1
担当部課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)	育児支援家庭訪問事業	ひとり親家庭等自立支援事業	ひとり親家庭等自立支援事業
事業概要	出産後間もない家庭を訪問し、 育児不安を抱える保護者の相談や 指導を行うことにより、家庭で安 定した児童の養育ができるよう支 援を行うとともに児童虐待の未然 防止を図るもの	ひとり親家庭の親が就労に有効な資格を取得するための経費の 一部の助成、特定の資格を取得する期間に係る給付金の支給、ひ とり親家庭の親を常用雇用に転換する事業主に奨励金を支給し、 ひとり親家庭の自立を支援するもの	
数値目標等	—	—	—
現状値	—	—	—
目標値	—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	2005年度から保健センター内に育 児家庭訪問指導員室を設け、事業 開始 ○訪問指導員 3名 ○育児家庭訪問員 13名配置 ○年間訪問件数 1,381件 ・初回訪問 1,358件 ・継続訪問 23件 *市保健師との連携件数142件	○自立支援教育訓練給付金事業 就労に有効な資格を取得するための経費の一部を助成するもの (支給数 20件) ○高等技能訓練促進費事業 経済的自立に効果的な資格を取得するために2年以上修業する間の 一定の期間について給付金を支給するもの (支給数 11件) ○常用雇用転換奨励金事業 ひとり親家庭の親を短期雇用から常用雇用に転換するために必要な 訓練を開始し、6ヶ月以内に常用雇用に転換した事業主に奨励金を支給 するもの (支給数 0件)
2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
(予算額:千円)	11,205	9,885	9,885
備考 (特記事項)	2008年度から担当部課が保健所健 康推進課へ変更	○自立支援教育訓練給付金事業 継続して実施 ○高等技能訓練促進費事業 継続して実施 ○常用雇用転換奨励金事業 2007年度をもって制度廃止。ただし、2007年度までに「常用雇 用への転換に向けた職業訓練(OJT等)実施計画書」を受付したもの については経過措置あり。	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-2-1	4-2-1
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課
具体的な施策 (個別事業名)		ひとり親家庭等自立支援事業 (ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業)	ひとり親家庭等自立支援事業 (母子自立支援プログラム策定事業)
事業概要		ひとり親家庭の母等に対し、家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じた就業相談の実施、就業に結びつきやすい就業支援講習、公共職業安定所と連携した就業情報の提供など一貫した就業支援サービスを提供するとともに養育費の取り決めなどの専門家による相談等を実施し、ひとり親家庭の生活の安定と児童福祉の増進を図るもの	児童扶養手当受給者の状況・ニーズに応じ、自立支援プログラムを策定し、きめ細かな自立・就労支援を実施するもの
数値目標等		—	—
現状値		—	—
目標値		—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	07年度実施状況等 実施内容及び課題等	<p>○就業支援事業 2006年12月に無料職業紹介所の許可を受け、家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じた就業相談の実施、就業情報の提供等 相談件数193件 求職件数193件 求人件数109件 紹介件数 99件</p> <p>○就業支援セミナー・講習会 就業経験の無い者、離職期間が長い者、転職を希望する者等を対象とした就業支援セミナー等の開催 ①セミナー4回 延べ30人 ②講習会4回 延べ32人</p> <p>○特別相談事業 養育費の取り決めや生活上の諸問題の解決のため、弁護士による専門相談の実施 1回4人</p> <p>○事業委託先 財団法人福山市母子寡婦福祉連合会</p>	<p>就業・自立支援センター内において母子自立支援プログラム策定員が、児童扶養手当受給者を対象に自立支援プログラムを策定した。</p> <p>○策定数 58件</p> <p>○事業委託先 (財)福山市母子寡婦福祉連合会</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き就業・自立支援センター内に母子自立支援プログラム策定員を配置し、児童扶養手当受給者の自立・就労支援を行う。
(予算額:千円)		2,435	1,659
備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-2-2	4-2-3	4-2-4																	
担当部課		児童部子育て支援課	児童部子育て支援課	児童部子育て支援課																	
具体的な施策 (個別事業名)		母子保護の実施	母子相談事業	ひとり親家庭への経済的支援																	
事業概要		配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を母子生活支援施設に入所させ保護を行うとともに自立を支援するもの	家庭児童相談室における相談を充実し、母子家庭の自立支援を推進するもの	ひとり親家庭への経済的支援を行うもの																	
数値目標等		—	—	—																	
現状値		—	—	—																	
目標値		—	—	—																	
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】																	
	実施内容及び課題等	<p>○母子生活支援施設入所状況 (2008年3月末)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>入所世帯</th> <th>入所人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久松寮</td> <td>5</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>松永寮</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>11</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>※市外委託</td> <td>7</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>○久松寮及び松永寮の入所者数は増加傾向にある。</p> <p>○近年、DV被害を被った母子世帯の市外施設への措置委託が増加している。(※)</p>		入所世帯	入所人数	久松寮	5	12	松永寮	6	18	小計	11	30	※市外委託	7	15	合計	18	45	<p>○ひとり親家庭自立支援員4名配置(家庭児童相談員と兼務)</p> <p>○母子世帯の自立支援に向けた相談・助言を行った。</p> <p>○相談件数 3,414件 (母子寡婦福祉資金の貸付・償還相談を含む)</p>
	入所世帯	入所人数																			
久松寮	5	12																			
松永寮	6	18																			
小計	11	30																			
※市外委託	7	15																			
合計	18	45																			
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 就業・自立支援センター等関係機関と連携し、自立支援を推進する。	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施																	
(予算額:千円)		※78,409	2-2-3に含む																		
備考 (特記事項)		※市外施設への措置委託料を含む。 (広域措置委託料31,447千円)																			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-1	4-3-1	4-3-3
担当部課		(教) 学校教育部指導課	(教) 学校教育部指導課	児童部保育課
具体的な施策 (個別事業名)		障害児の教育	障害児の教育 (特別支援教育体制推進事業)	障害児保育
事業概要		障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズを把握し、必要かつ適正な個に応じた教育を推進するもの	通常学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒への指導支援を、学校体制として組織的に進めるもの	家庭において保育に欠ける障害児を受け入れ、保育の保障を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の実態や就学前施設での状況、こども家庭センター、医療機関等と連携した総合的な判断による就学指導 ○特別支援学級、通級指導教室での個に応じた指導の実施 ○介助員、障害児指導員の配置 ○発達障害のある児童生徒への理解と対応について教職員の資質向上のための研修の実施 ○「特別支援教育」に向けて、校内体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内委員会の設置 ○特別支援教育コーディネーターの指名 ○学校支援員の配置(4月) ○特別支援教育コーディネーター研修の実施(年3回) ○学校支援員の研修の実施 ○福山市巡回相談事業の実施 ○大学生による特別支援教育サポーター事業の実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ○校内体制での特別支援教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団保育可能な希望児童について実施(2007年度手帳取得児童39人、その他課題のある児童約1,064人入所)
2008年度計画		<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級、通級指導教室の設置 ○教育内容の充実 ○介助員、障害児指導員の配置 ○学校体制による特別支援教育の推進 	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制の機能化による特別支援教育の推進 ○巡回相談を活用した特別支援教育に係る校内研修の充実 ○小中学校30校に学校支援員の配置 	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集団保育可能な希望児童について実施
(予算額:千円)		236,113	55,951	123
備考 (特記事項)		法改正により2007年度から障害児教育は特別支援教育に変更		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-4	4-3-5	4-3-6
担当部課		児童部保育課 (教) 学校教育部指導課	保健所健康推進課	福祉部障害福祉課
具体的な施策 (個別事業名)		ことばの相談室	療育相談・療育支援システム	障害福祉サービス等の充実
事業概要		言語の発達に課題がある児童を専門的に指導援助し、その軽減、克服を図るもの	疾病や障害を早期に発見し、適切な支援が行える体制の整備を行うもの	障害のある児童への早期療育や居宅サービスの支援を行うことで、児童の発達を支援するとともに保護者の負担を軽減する
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	発音等について保育所、幼稚園で専門的な指導・支援を実施 ○実施箇所 保育所 4所 幼稚園 4園 ○利用人数 保育所 673人(延回数3,409) 幼稚園 310人(延回数3,693) 【課題】 ○件数の増加により、相談回数の確保が困難になりつつある ○ことばのみの課題は少なく、発達全般の課題・保護者支援の比重が高くなっている	保健事業実施課(健康推進課、松永保健福祉課、北部保健福祉課、沼隈保健福祉課、神辺保健福祉課)において、毎月実施している。スタッフは心理相談員・保育士・保健師である。 実施回数:120回 【課題】 療育相談に参加する必要があるにもかかわらず参加しない児童に対して、訪問等で勧奨しているが、全員参加に至っていない。	障害児に障害者自立支援法による次のサービスを提供 ○居宅介護 43人 ○児童デイサービス 114人 ○短期入所 25人 ○移動支援 54人 ○日中一時支援 115人 (2008年3月利用分の実人数)
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施 実施箇所 保育所 4所 幼稚園 4園	【継続 ■ 廃止 □】 療育相談:144回 ○新設の東部保健福祉課でも実施するため、回数が増加する予定。 ○未参加者の療育相談への参加の働きかけ、療育支援システムを活用し、早期支援を図る。	【継続 ■ 廃止 □】 引き続き、サービスの提供を継続
(予算額:千円)		0	1-2-4に含む	144,690
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-6	4-3-7	4-3-8
担当部課		福祉部障害福祉課	福祉部障害福祉課	福山すこやかセンター
具体的な施策 (個別事業名)		障害福祉サービス等の充実 (障害児通園施設利用者負担軽減 事業)	重症心身障害児(者)通園事業	水中活動モデル講座
事業概要		障害のある児童への早期療育を進めるため保護者の負担を軽減する。 障害者自立支援法の施行に伴い児童福祉法が改正され障害児通園施設を利用する保護者の負担が増した。このため、市独自に障害児通園施設を利用する一定所得に満たない保護者が看護する児童の食事負担を軽減するもの	在宅重症心身障害児(者)に対し、通園により、家庭、地域で主体的に暮らしていくための支援を行い、豊かな生活の実現をめざす。福祉と医療の専門スタッフが、家庭や地域における日常生活支援、健康増進支援、さらには地域の関係機関との連携を深める支援を行うもの	福山すこやかセンター水浴訓練室において、医師会と連携し、障害児(者)を対象とした水中活動の指導者の育成を図り、障害状況別指導メニューの確立を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 □ 新規 ■】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○食費補助 障害児通園施設利用者の食事負担の軽減に要する費用として、法人へ補助金を交付する。国制度による食費加算を受けられない者のうち、低所得者は1食160円、その他世帯1食420円を算定 4施設 46人</p> <p>○併行通園補助 障害児通園施設・児童デイと保育所・幼稚園を併せて利用する場合には、障害児通園施設・児童デイの利用者負担相当額を助成する。障害児通園施設等・保育所等の両方の利用者負担があり、かつ障害児通園施設等を月5日以上利用した場合に、障害児通園施設等のその月の利用者負担全額を助成 6施設 34人</p>	<p>在宅の心身障害児(者)に通園により療育支援を行う。広島県立福山若草園(重症心身障害児(者)通園施設)で実施</p> <p>登録者数 15人</p>	<p>○ハロウィック水泳法講習会修了者のためのフォローアップ研修(5回) ○オープン参加型講座(5回) 講義、実技指導、ヘルパー研修 ○オープン参加型講座修了者のためのフォローアップ研修(1回) ○日本ハロウィック水泳法協会によるフォローアップ研修(1回) ○育成された指導者による実技指導(13団体 39回)</p> <p>【課題】 ○グループリーダーの育成 ○ハロウィック水泳法講習会修了者の活動支援</p>
2008年度計画	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>継続して実施 ○食費補助 5施設54人 ○併行通園補助 5施設30人</p> <p>さらに、障害児通園施設等利用者の兄・姉等が保育所等を利用している場合に、障害児通園施設の利用者負担に対し一定割合を助成するよう拡大予定</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>継続して実施 昨年度と同様 ○開設日 294日 ○登録 15人</p>	<p>【継続 ■ 廃止 □】</p> <p>○オープン参加型講座(5回) ○育成された指導者による実技指導 ○講座修了者のフォローアップ研修 ○実技指導マニュアル作成 ○ボランティア養成講座実施</p>	
(予算額:千円)		4,746	16,153	2,011
備考 (特記事項)		<p>食事補助 2,010千円 併行通園補助 2,736千円</p>		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	4-3-9	5-1-1	5-1-1
担当部課		福祉部障害福祉課	人権推進部人権推進課	都市部公園緑地課
具体的な施策 (個別事業名)		障害者等総合相談事業 「子ども発達相談室」	ユニバーサルデザインの推進	ユニバーサルデザインの推進
事業概要		福山すこやかセンターにおいて、子どもの発達についての相談を受けるもの(原則予約制)	年齢、性別、国籍、障害の有無等に関らず、すべての人が快適な暮らしができる社会をめざし、総合的かつ効果的にユニバーサルデザインを推進するもの	公園出入口車止め改修
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】
	実施内容及び課題等	<p>○5月7日開設</p> <p>○2名の相談員による専門相談 相談件数 68件 (2007年5月～2008年3月)</p>	<p>各課より取組についての状況を調査し集約結果をイントラ掲示板で研修資料として掲載。</p> <p>ユニバーサルデザインの視点に立ち、職員の理解や接遇等心のユニバーサルデザインの充実が図られてきた。また施設面においてもユニバーサルデザインの考え方を取り入れた事業がなされ、市民の利便性の向上・安全確保に資している。</p> <p>【課題】 まだ市民に理解されていない面もあり、引続き啓発活動による市民意識の高揚を図っていく必要がある。</p>	<p>公園出入口車止め改修 8箇所</p> <p>【課題】 入口が拡がり、バイク等の不法侵入もありえる。</p>
2008年度計画		【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 継続実施	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 イベント等でのパネル展示や各種研修会での啓発や資料を活用しての学習など、さまざまな機会を通し周知に努める。	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 公園出入口車止め改修 6箇所
(予算額:千円)		—	0	1,300
備考 (特記事項)		2007年度新規事業(追加)		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-1-1	5-1-2	5-2-1
担当部課		都市部公園緑地課	市民部生活安全推進課	市民部生活安全推進課
具体的な施策 (個別事業名)		ユニバーサルデザインの推進	生活安全モデル地域の指定	子どもの安全確保 (生活安全パトロール車による 子ども見守り事業)
事業概要		街路樹等安全対策事業	生活安全モデル地域を指定し、 住民参加のもと、犯罪のない安心 して子育てができる安全なまちづ くりを地域ぐるみで推進するもの	公用車両に青色回転灯及び放送 設備を装備し、公務連絡経路等 において、防犯・交通安全等の街頭 啓発を実施するほか、不審者情報 に対する対応など、子どもの見守 り活動を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
07 年度 実施 状況 等	実績値			
	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	街路樹等により、歩行者等の通行 に支障をきたしている箇所につい て、支障の状況に応じ、維持補修を 計画的に推進し、歩行者等の安全 を確保した。18区域	モデル地域に指定され、住民参加 のもと、安心して安全に暮らせる地 域づくりを推進する地域に、年額10 万円×2年間を助成 ○継続3地域(長浜学区、明王台学 区、戸手学区) ○新規3地域(久松台学区、東村学 区、新市学区) 【課題等】 モデル地域指定期間に限定しな いで継続した活動が展開されること と、モデル地域の成果を他の地域 に広げる取り組みが必要	公務連絡車両等16台を白黒に塗 装し、青色回転灯及び放送設備等 を装備した生活安全パトロール車に よる、子どもの見守り、交通安全啓 発及び防犯啓発活動を実施した。 また、公務連絡中の活動に加え、 下校時における通学路や危険箇所 のパトロール、「不審者情報」に基 づく重点巡回パトロールを実施し た。
	2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 街路樹等安全対策事業 18区域	【継続 ■ 廃止 □】 ○継続3地域(久松台学区、東村 学区、新市学区) ○新規3地域	【継続 ■ 廃止 □】 生活安全パトロール車(16台)に よる子ども見守り活動等を実施
	(予算額:千円)	4,000	600	0
	備考 (特記事項)			

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-1
担当部課		市民部生活安全推進課	市民部協働のまちづくり課	児童部保育課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保 (地域青色防犯パトロール実施 団体支援事業)	子どもの安全確保	子どもの安全確保
事業概要		子どもの見守りなど地域における自主防犯パトロールの充実に向け、地域青色防犯パトロール実施団体に対し、パトロール車両に装備する青色回転灯、放送設備等を貸与するもの	初年度購入の情報提供用ファックスを、必要に応じて各学(地)区自治会(町内会)連合会長宅へ貸与している 地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報や災害情報等を提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援するもの	保育所、幼稚園、学校、家庭、地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めるもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 □ 新規 ■】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	申請があった8学区に青色回転灯等を貸与し、子どもの見守りなど地域青色防犯パトロール活動が実施されている。 実施学区 (幕山、長浜、久松台、坪生、東村、明王台、山南、網引)	情報提供用ファックスを持っていない各学(地)区自治会(町内会)連合会長宅へ貸与し、地域における安全確保のための注意や対策が必要と思われる不審者情報・災害情報等を提供することにより、地域における子どもや市民の安全確保体制を支援した。 【課題】 全学(地)区自治会(町内会)連合会長宅に設置していないため、引き続き設置するように取り組む必要がある。	○「福山市保育カリキュラム」に児童の安全確保についての内容を計画し、職員の意識向上と実働ができるよう取り組んだ ○「こども安心安全ガイド」を活用し、児童・保護者の安全意識の向上をはかった ・活用回数 1回 7所 2回 28所 3回 24所 4回 10所 ・活用内容 懇談、読み聞かせ 実地指導、講演など
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】 地域青色防犯パトロールを予定する実施団体を支援し、青色回転灯などを貸与する。	【継続 ■ 廃止 □】 前年度に引き続き不審者情報や災害情報の提供を実施する。	【継続 ■ 廃止 □】 カリキュラムやガイドを活用するなかで、継続して実施
(予算額:千円)		380	250	0
備考 (特記事項)		2007年度新規事業(追加)		

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-1
担当部課		児童部子育て支援課	児童部庶務課 他(※)	(教) 学校教育部指導課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保 (児童安全啓発事業)	子どもの安全確保 (保育所、幼稚園、放課後児童クラブへの緊急通報システム整備)	子どもの安全確保
事業概要		子どもを犯罪などの危険から守るために保護者や地域住民が、子どもの安全についてより理解を深め見守っていくとともに、子ども自身が危険から回避できる力を身につけていく啓発を行う。	保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおける不審者の侵入や事故などの有事に備えて、園児、児童の安全を確保するため、保育所に緊急通報システム(注)を整備し、安全対策の態勢強化を図るもの (注)緊急時に県警本部総合指令室に自動通報し、発信元を直接確認でき、相互に通話が可能	保育所、幼稚園、学校、家庭、地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めるもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○2006年度において作成した「子ども安心安全啓発ガイドブックえがおでたさいま!」(A4版16頁)を配布 ○主な配布先 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所(園)児童及び職員 ・小学校児童及び職員 ・民生委員主任児童委員 ・公民館、コミュニティセンター ○配布対象者への配布のほか、各種の研修等で活用 ○市ホームページの「子育てe-支援情報」に啓発ガイドブック全文を掲載し、市民に情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 整備済施設 ○保育所 <ul style="list-style-type: none"> 市立70施設 私立46施設 ○幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> 市立22施設 私立21施設 ○放課後児童クラブ 72施設 	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアルによる安全性の確保 ○安全確保のための保育所、幼稚園、学校、家庭、地域の連携の強化 ○小学校の緊急通報システムを活用した緊急時対応訓練を実施 ○新入学児童へ防犯ブザーを配布 ○スクールサポートボランティア事業を実施 ○児童生徒による地域安全マップ作成の取組みを推進
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、活用の機会を捉えて配布し啓発していく。 ○小学校新1年生全員に配布 	<ul style="list-style-type: none"> 市立の保育所・幼稚園及び放課後児童クラブの緊急通報システム維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所 市立69施設 私立45施設 ・幼稚園 市立20施設 私立21施設 ・放課後児童クラブ 72施設 	継続して実施
(予算額:千円)		0	—	
備考 (特記事項)			※その他の関係部署 (教)学校教育部指導課 (教)社会教育部社会教育振興課	

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-1
担当部課	(教) 学校教育部指導課	(教) 学校教育部指導課	人権推進部青少年課	
具体的な施策 (個別事業名)	子どもの安全確保 (児童生徒安全確保対策)	子どもの安全確保 (通学時安全確保対策)	子どもの安全確保	
事業概要	不審者情報を受信希望者(保護者、教育関係団体及び地域の各種団体)に、携帯電話等のメール機能を利用したメール配信により、情報提供し、園児・児童生徒の安全確保を図るもの	小学校新入生に防犯ブザー・ランドセル用防犯ブザーストラップ及びランドセルシールを配布する。 防犯ブザー配布時に、取り扱いについて指導し、児童が危険から自分を守ることのできる危険回避能力の育成を図るもの	保育所・幼稚園・学校・家庭・地域が一体となった危機管理体制を確立し、子どもの安全確保に努めるもの	
数値目標等	—	—	—	
現状値	—	—	—	
目標値	—	—	—	
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	07年度実施状況等 実施内容及び課題等	教育委員会で把握した不審者情報をメールで配信	○防犯ブザー 5,000個 ○ランドセル用防犯ブザーストラップ 5,000本 ○ランドセルシール 5,000枚 ※対象は2008年(平成20年)4月入学予定の新入生	各学区の青少年補導員協議会・まちづくり推進委員会の構成団体や地域住民と連携を図りながら、登下校時の見守りや、不審者情報の共有化を図るとともに、非行防止・環境浄化を中心とした補導活動など、地域におけるパトロールを実施した。
2008年度計画	【継続 ■ 廃止 □】 継続して実施	【継続 ■ 廃止 □】 ○防犯ブザー 5,000個 ○ランドセル用防犯ブザーストラップ 5,000本 ○ランドセルシール 5,000枚 ※対象は2009年(平成21年)4月入学予定の新入生	【継続 ■ 廃止 □】 地域における子どもの安全確保のため、関係機関・団体や地域住民に対して、先進的な取組事例などを情報提供するとともに、広く市民に周知を図り、子どもの安心・安全や地域防犯に対する意識の高揚に取り組む。また、関係機関・団体等や関係部署と連携を図りながら、これまでの事業を継続しながら、さらに充実・強化する。	
(予算額:千円)	3,780	2,490	1-2-8に含む	
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-1	5-2-1	5-2-2
担当部課		人権推進部青少年課	人権推進部青少年課	人権推進部青少年課
具体的な施策 (個別事業名)		子どもの安全確保 (通学路沿い公共施設 安全対策事業)	子どもの安全確保 (地域安全マップ普及推進事業)	非行防止活動の推進
事業概要		通学路沿いの公共施設に防犯カメラシステムを設置し、通学途中の児童等の防犯を図るもの	「地域安全マップセミナー」を開催し、指導者を養成するもの また、地域安全マップ作成品・教材ビデオの貸出しや指導者を派遣し、地域におけるマップ作成を推進するもの	関係機関・団体等との連携強化による非行防止の推進を図るもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 □ 新規 ■】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>通学路沿いの公共施設3か所に、防犯カメラシステム(防犯灯・カメラ・緊急ボタンの3点セット)を設置し、児童・生徒等の安全確保とともに、地域の安全対策を図った。</p> <p>2007年度設置場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸学区 長和市道交差点 ・松永学区 松永駅南第1自転車駐車場 ・春日学区 松前橋南詰 	<p>○地域における犯罪を未然に防止するため、市内全学区を対象に、「地域安全マップ作成セミナー」を開催した。</p> <p>12月8日 参加者 24人</p> <p>○「地域安全マップ作成品・教材ビデオ」の貸出し・指導者の派遣を行い、地域における安全マップ作成を推進した。</p> <p>派遣 2回、グッズ貸出 12回</p> <p>○安心安全講座として、「携帯電話の適正利用講習会」を開催し、子どもがさらされているネット犯罪・被害に関する知識を深めるともに対応法について考えた。</p> <p>12月15日 参加者 36人</p>	<p>関係機関・団体等に対し、情報提供を実施するとともに、連携強化を図る中で活動支援を実施した。</p> <p>また、青少年補導員協議会や中央少年補導員協議会等を対象とした会議・研修会を実施した。</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		2006～2007年度実施分(6台)に加え、2008年度も新たに防犯カメラシステムを設置することにより、児童・生徒等の安全確保とともに、地域の安全対策をさらに強化する。	継続して実施	継続して実施
(予算額:千円)		4,200	119	1-2-8に含む
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-2-3	5-3-1	5-4-1
担当部課		人権推進部青少年課	人権推進部青少年課	市民部生活安全推進課
具体的な施策 (個別事業名)		「こども110番の家」推進事業	社会環境浄化活動の推進	交通安全教室
事業概要		子どもを犯罪等の被害から守るため、市内全学区に「こども110番の家」の活動を実施し、地域の住民と連携して、子どもを被害から守る活動の支援を行うもの	行政、関係機関、関係団体等が連携を強化する中で、家庭、学校、地域が一体となって、青少年の健全育成に取り組むもの	小学校の入学児童や保育所・幼稚園の入所(園)児童を対象にした、交通公園等での参加・体験・実践型の交通安全教室や、交通安全教育専門員の派遣による移動交通安全教室、「交通ファミリーランド」を開催し、交通安全意識の普及啓発を行うもの
数値目標等		—	—	—
現状値		—	—	—
目標値		—	—	—
実績値	区分	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】	【継続 ■ 新規 □】
	実施内容及び課題等	<p>○防犯に関する意識啓発・PRの推進や、「こども110番の家」表示プレートやマニュアルを作成し、配布した。</p> <p>また、地域での活動に対する支援の推進を図るため「青少年センターだより」を発行し、学区青少年補導員と110番の家に配布し、情報の共有化と運動の進展を図った。</p> <p>協力軒数 5,848軒(2007年8月末)</p> <p>○自主的に「こども110番事業」に取り組んでいる市内の民間事業者等と「こども110番事業ネットワーク会議」を10月に発足し、情報の共有化や啓発活動に努め、子どもの安全確保対策の充実を図った</p>	<p>少年社会環境浄化モニターによるたばこ自販機の稼働時間実態調査及び啓発活動を実施した。</p> <p>また、関係機関・団体等と連携する中で、白ポストの設置、娯楽施設等への協力依頼、自販機・図書類販売者への立入調査等、青少年を取り巻く社会環境の浄化諸事業を実施した。</p>	<p>交通安全教育専門員(1名増員の5名)による交通安全教室の開催</p> <p>○教室開催数 461回 ○参加者数 延べ58,663人</p> <p>【課題等】 交通安全教室未実施の保育所・幼稚園等への開催依頼</p>
2008年度計画		【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】	【継続 ■ 廃止 □】
		「こども110番の家」をさらに拡充強化を図る。(福山北警察署の設置に伴うプレートの配布を行う。)子どもの安心安全に向けた情報共有化の充実のため、「こども110番の家だより」を発行する。	前年度の実施内容をさらに充実・強化し、環境浄化に努める。	交通安全教室 ○教室開催数 約460回 ○参加者数 約58,000人
(予算額:千円)		100	687	8,874
備考 (特記事項)				

福山市次世代育成支援対策推進行動計画における
具体的な施策(個別事業)の実施状況等報告書

【継続事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	5-4-2
担当部課	市民部生活安全推進課	
具体的な施策 (個別事業名)	チャイルドシート着用の啓発	
事業概要	乳幼児の安全確保のため、チャイルドシートの正しい着用の徹底について啓発を行うもの	
数値目標等	—	
	現状値	—
	目標値	—

	実績値	
	区分	【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 】
07年度実施状況等	実施内容及び課題等	交通安全運動期間中及び各種イベント開催時に啓発チラシを配布し、チャイルドシートの正しい着用の徹底を啓発した。
2008年度計画		【継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 】 四季の交通安全運動や各種イベント等において、チャイルドシートの正しい着用の徹底を広報・啓発する。
(予算額:千円)	0	
備考 (特記事項)		

2008年度(平成20年度)
新 規 事 業

【新規事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	1-1-5	2-2-7 (3-2-2・3-6-1)	2-4-1
担当部課	保健所健康推進課	保健所健康推進課	社会教育部中部ブロック社会教育センター	経済部労政課
具体的な施策 (個別事業名)	こんにちは赤ちゃん訪問事業	こんにちは赤ちゃん訪問事業	地域における家庭教育支援基盤 形成事業(協議会委託事業)	女性雇用対策事業等 (女性のチャレンジ支援事業)
事業概要	生後4か月までの乳児のいる 家庭に、子育て支援ボランティア 等が訪問し、育児についての 話し相手及び情報提供を行うと ともに、親子の心身の状況や養 育環境を把握し、支援が必要な 家庭に対しては、適切なサービ ス提供に結びつけることにより 当該家庭の子育てを支援するも の	家庭の教育力向上を図るため、 保護者を対象とした子育て、親育ち の講座を開催するもの ○就学前の子どもの保護者を対象 とする子育て講座 就学前の子どもの保護者を対象 に、子育てに関する講演会を保育 所保護者会、幼稚園PTA参観日な どの機会を活用して開催する。 ○思春期の子どもの保護者を対象 とした子育て講座 子育てに関する講演会を小学校 (高学年)、中学校のPTA参観日な どの機会を活用して開催する。 ○父親の家庭教育参加を考える集 い 父親の家庭教育への参加を促進 するため父親と子どものふれあ いを深める講座を開催する。	出産・育児などで離職し、再 就職を希望する女性を支援する ため、仕事と家庭の両立支援企 業を集めた合同就職面接(託児 サービス付)を開催するもの	
数値目標等	乳児全数訪問率	—	—	—
現状値	—	—	—	—
目標値	100%(2010年度)	—	—	—
2008年度計画	○こんにちは赤ちゃん訪問の実施 目標数 3,000件 ○研修会開催 ・子育てに関する研修 ・訪問体験交流会 ○必要に応じてケース会議の開催 ○啓発方法 ・広報「ふくやま」、ホームページ などに掲載	○就学前の子どもの保護者を対象 とする子育て講座 115回予定 ○思春期の子どもの保護者を対象 とした子育て講座 15回予定 ○父親の家庭教育参加を考える集 い 6回予定	○職業相談会 ・キャリア・コンサルティング・企業 相談・両立支援相談(子育て情報 等の提供)・職業相談・応募書類等 の作成説明 ○合同就職面接会 ・対象者:出産・育児などで離職し、 再就職を希望する女性 ・参加企業:一般事業主行動計画 策定企業を優先 ・求人雇用形態:正規雇用中心 (パートなども含む) ・その他サービス:無料託児サービ ス ・連携事業:各種セミナーの開催 ※主催:広島県、広島労働局・ハ ローワーク、(独)雇用・能力開発機 構広島センター、広島県地域労使 就職支援機構、福山市	
(予算額:千円)	1-2-4に含む	2,188	0	0
備考 (特記事項)				

2008年度(平成20年度)
新 規 事 業

【新規事業用】

コード	基本方針-基本 施策-個別事業	3-1-9	3-3-5	
担当部課		学校教育部指導課 社会教育部文化課	(教) 管理部スポーツ振興課	
具体的な施策 (個別事業名)		北京市教育交流推進事業	生涯スポーツの振興 (沼隈体育館改修工事)	
事業概要		<p>本市と北京市教育委員会との間で教育交流を行うことにより、生徒が国際的視野や国際感覚を身に付けるとともに、生徒を指導する立場にある教職員が互いの国のことを知り合うことで、国際交流を図るもの</p> <p>また、福山市内の複数の美術館が協働して、中国と日本の現代絵画を展覧する特別展を開催し、本市と北京市相互の教育・文化の交流と理解を深め、両市の将来の友好発展に結び付けることを目的とするもの</p> <p>併せて、2008年8月に開催される北京オリンピックの開催地北京への祝意を表すもの</p>	<p>老朽化が進んでいる沼隈体育館を改修し、地域住民の健康増進、スポーツの振興を図るもの</p>	
数値目標等		—	—	
	現状値	—	—	
	目標値	—	—	
2008年度計画		<ul style="list-style-type: none"> ○中・高校生25名程度の相互訪問による交流 ○教職員10名程度の相互訪問による交流 ○(仮称)福山北京教育文化交流美術展開催 	<ul style="list-style-type: none"> 沼隈体育館改修工事 ○内外装改修工事 ○外壁劣化改修工事 ○耐震補強工事 ○玄関増築工事 ほか 	
(予算額:千円)		8,000	222,800	
備 考 (特記事項)				